

**(仮称) 第四次ひとり親家庭等自立促進計画  
策定にかかるアンケート調査  
結果報告書**

令和6年3月

泉佐野市

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 あなたやご家族について.....	2
2 お仕事について.....	18
3 資格・技能について.....	33
4 収入と養育費・面会交流について.....	34
5 お住まいについて.....	47
6 生活全般・各種制度について.....	50

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、ひとり親家庭及び寡婦家庭の皆さまからふだんの暮らしや将来のことなどについてお伺いし、令和7年度を始年度とする「(仮称)第四次ひとり親家庭等自立促進計画」策定のための基礎資料とさせていただくことを目的として実施しました。

## 2 調査概要

- ◇調査対象者：令和5年8月1日現在、市内在住の母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦
- ◇調査期間：令和5年8月1日～令和5年12月31日
- ◇調査方法：郵送及び児童扶養手当現況届提出時に配布し直接回収とWEB回収

## 3 回収結果

- ◇配布数：1,028件
- ◇有効回収数：310件（直接回収66件、WEB回収244件）
- ◇有効回収率：30.1%

## 4 報告書の見方

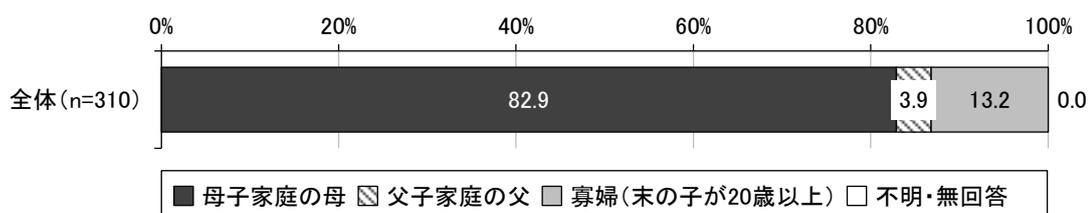
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## Ⅱ アンケート調査結果

### Ⅰ あなたやご家族について

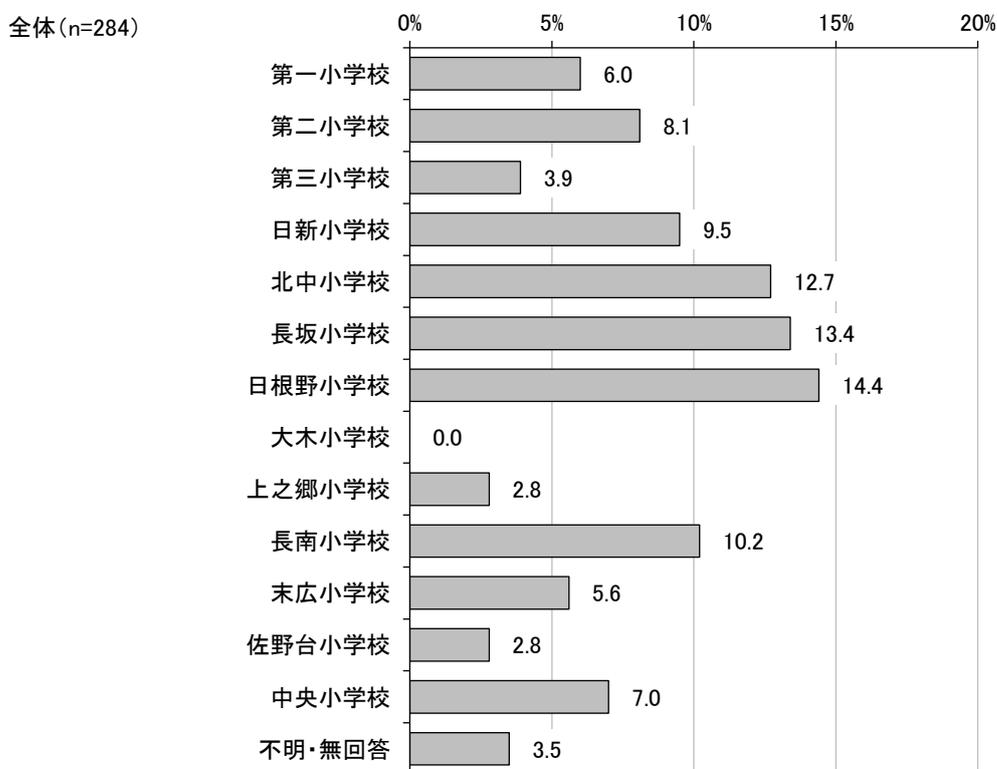
●あなたは次のうちどれに当てはまりますか。

「母子家庭の母」が 82.9%と最も高く、次いで「寡婦(末の子が 20 歳以上)」が 13.2%、「父子家庭の父」が 3.9%となっています。



●お住まいの小学校区はどちらですか。

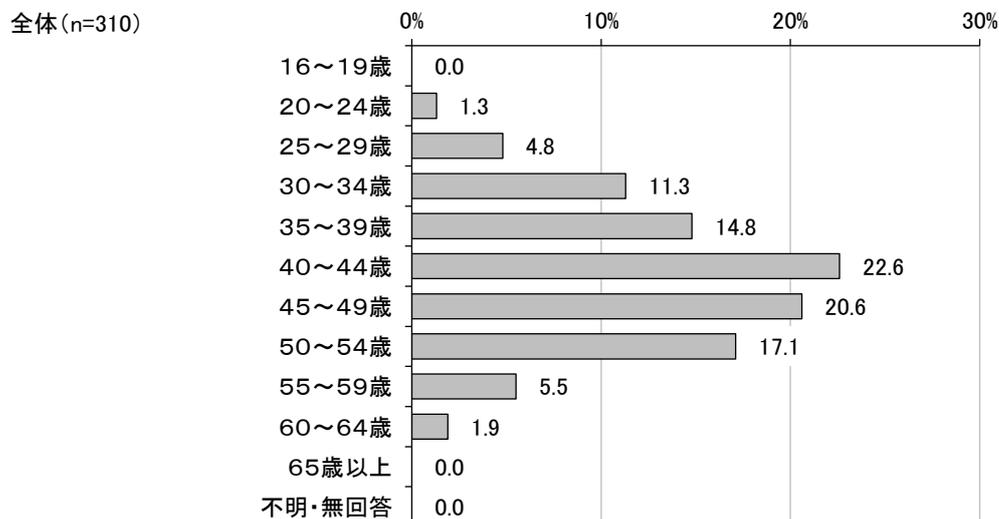
「日根野小学校」が 14.4%と最も高く、次いで「長坂小学校」が 13.4%、「北中小学校」が 12.7%となっています。



## 【資料6】

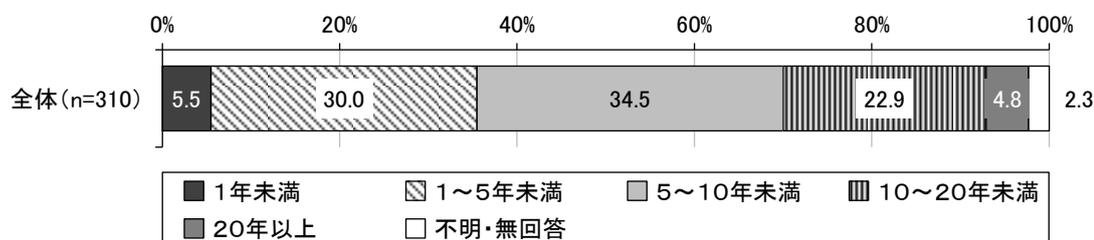
【問1】あなたの現在(令和5年8月1日現在)の年齢は、おいくつですか。

「40～44歳」が 22.6%と最も高く、次いで「45～49歳」が 20.6%、「50～54歳」が 17.1%となっています。



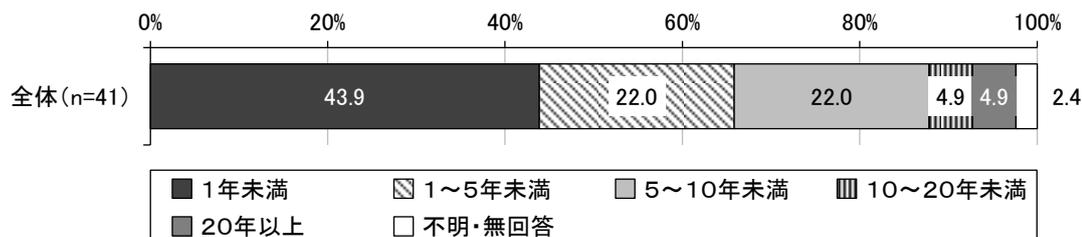
【問2】あなたがひとり親家庭になって、何年になりますか。

「5～10年未満」が 34.5%と最も高く、次いで「1～5年未満」が 30.0%、「10～20年未満」が 22.9%となっています。



【問2】寡婦の方は一番下のお子さんが20歳になって何年になられるかをカッコ内にお書きください。

「1年未満」が 43.9%と最も高く、次いで「1～5年未満」「5～10年未満」が 22.0%となっています。

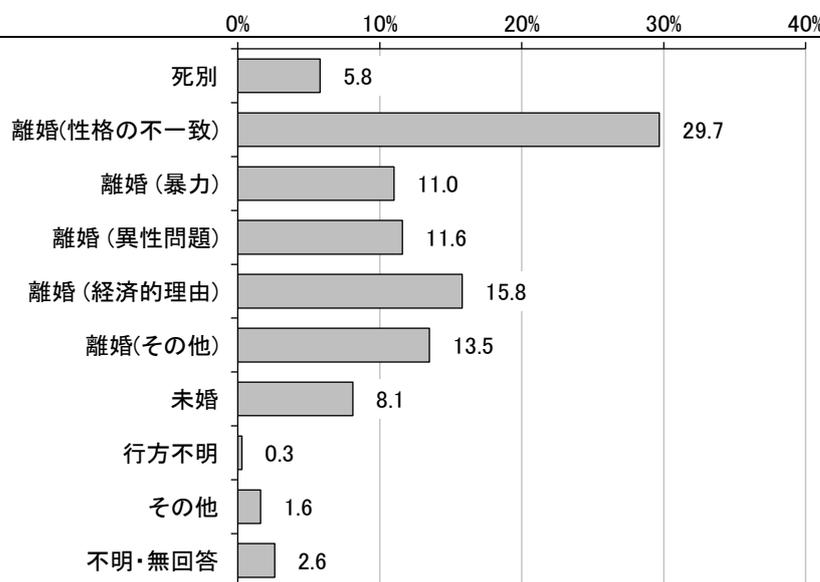


## 【資料6】

【問3】あなたがひとり親家庭になった理由について、主に当てはまるもの1つに○をつけてください。

「離婚(性格の不一致)」が29.7%と最も高く、次いで「離婚(経済的理由)」が15.8%、「離婚(その他)」が13.5%となっています。

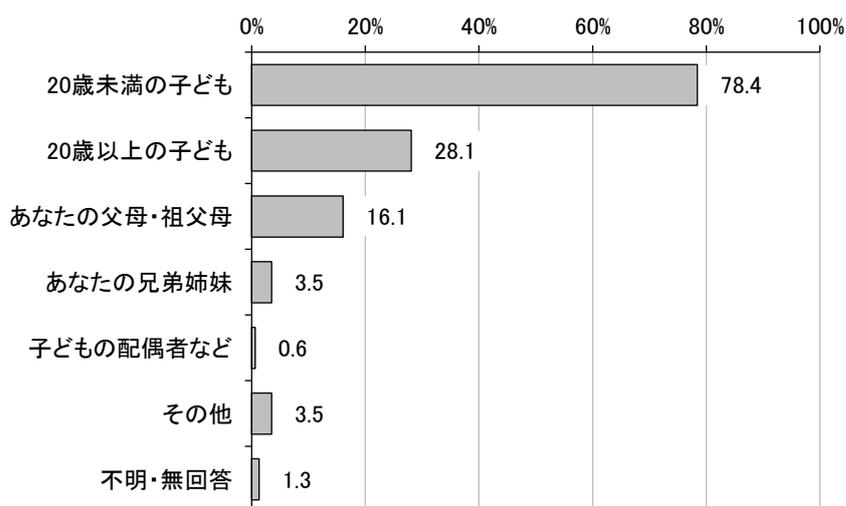
全体(n=310)



【問4】現在、ご一緒にお住まいのご家族はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

「20歳未満の子ども」が78.4%と最も高く、次いで「20歳以上の子ども」が28.1%、「あなたの父母・祖父母」が16.1%となっています。

全体(n=310)



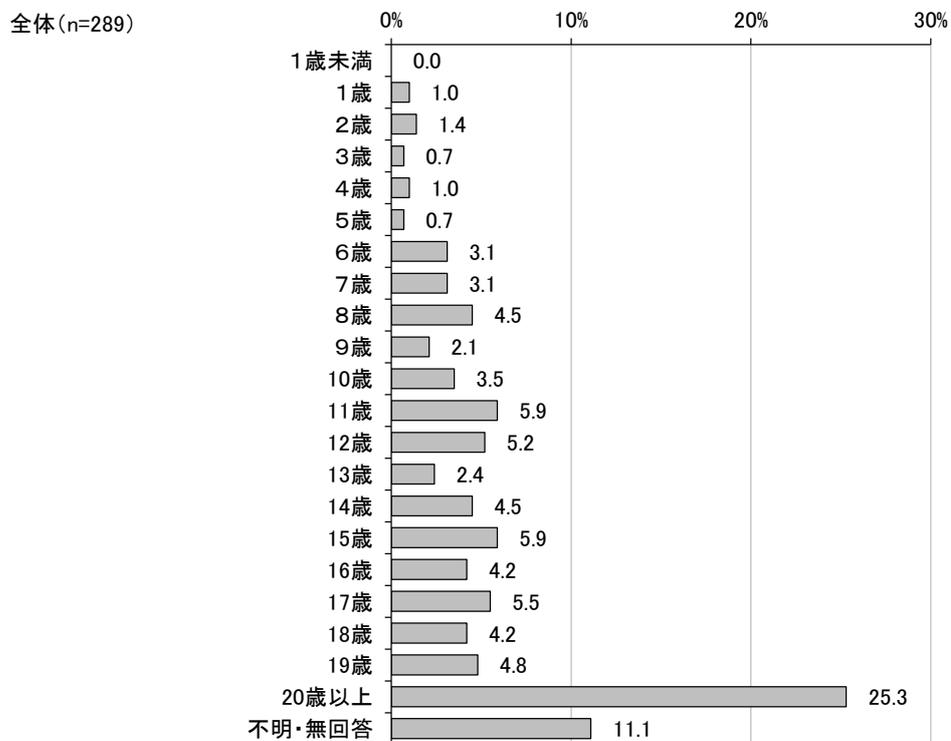
## 【資料6】

問4で「20歳未満の子ども」「20歳以上の子ども」とお住まいと回答された方

【問4-2①】 ご一緒にお住まいのお子さんについて、お子さんごとに年齢をご記入ください。

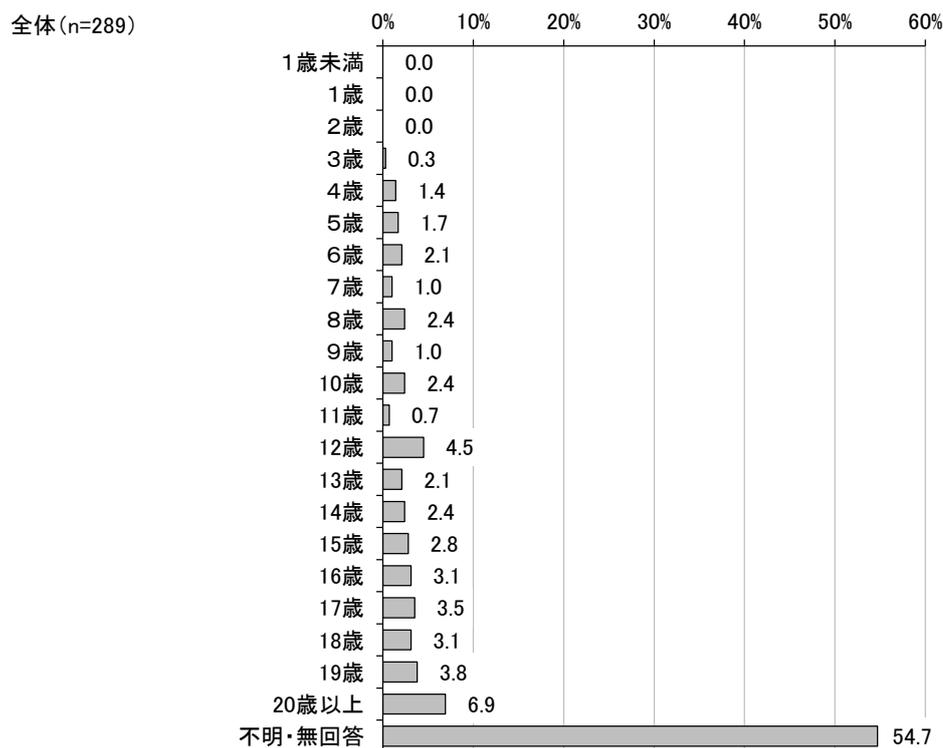
《第1子》

「20歳以上」が25.3%と最も高く、次いで「11歳」「15歳」が5.9%となっています。



《第2子》

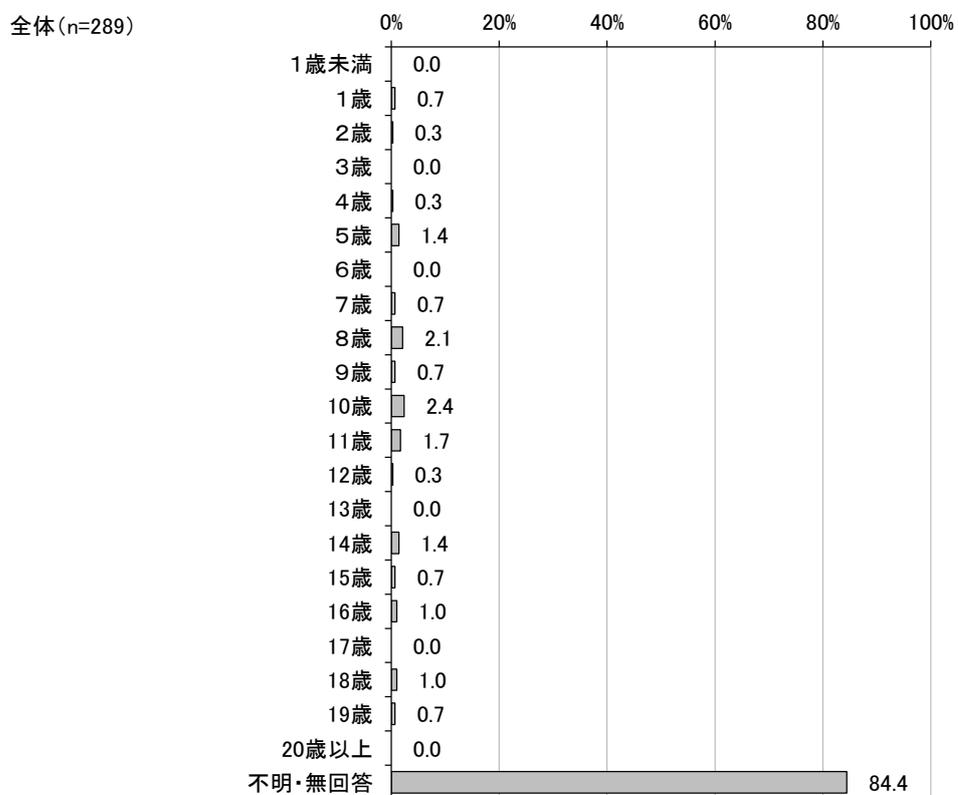
「20歳以上」が6.9%と最も高く、次いで「12歳」が4.5%、「19歳」が3.8%となっています。



## 【資料6】

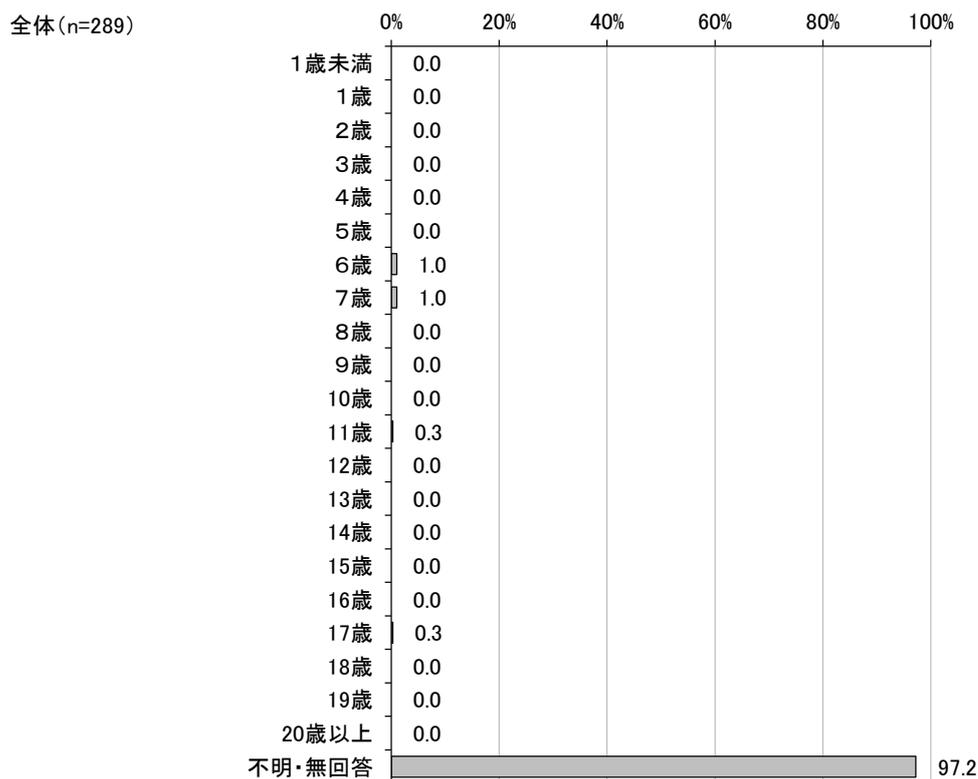
《第3子》

「10歳」が2.4%と最も高く、次いで「8歳」が2.1%、「11歳」が1.7%となっています。



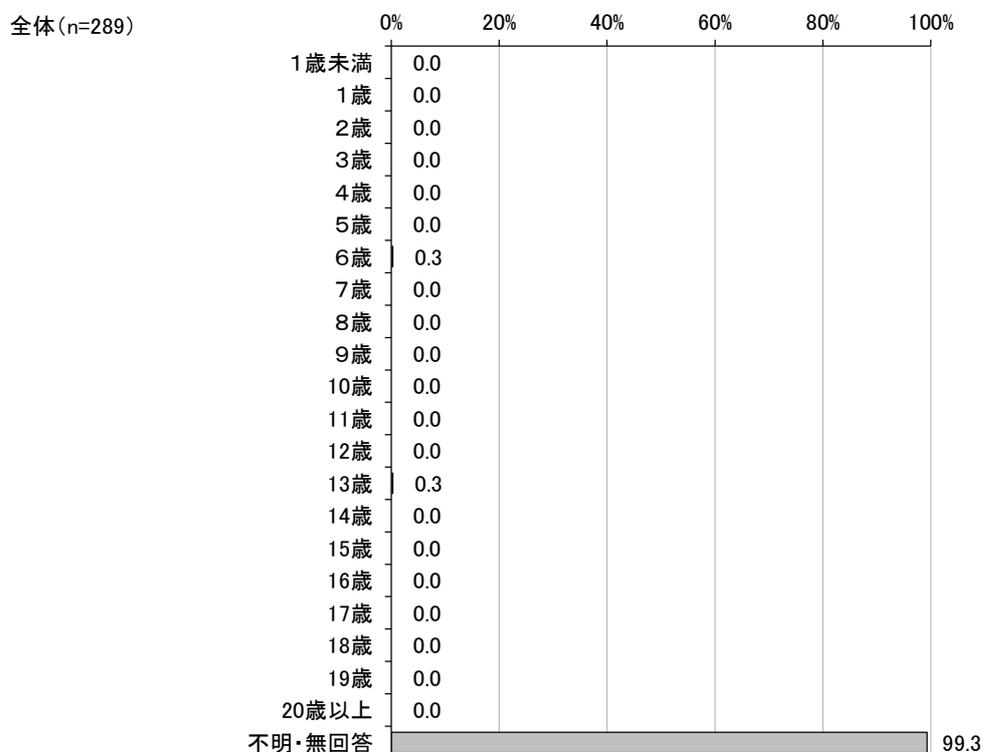
《第4子》

「6歳」「7歳」が1.0%と最も高く、次いで「11歳」「17歳」が0.3%となっています。



《第5子》

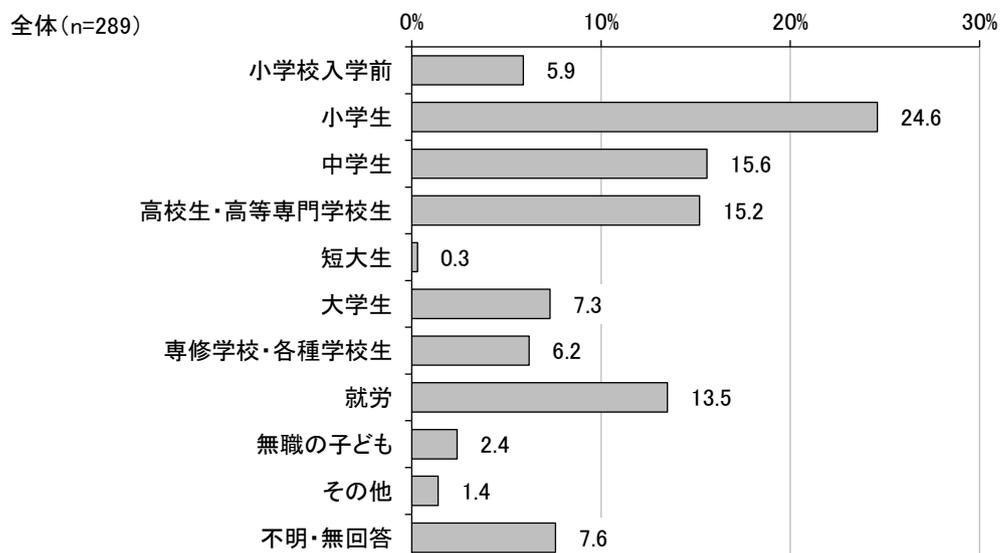
「6歳」「13歳」が0.3%となっています。



【問4-2②】ご一緒にお住まいのお子さんについて、お子さんごとに現在の就学・就労状況について、当てはまるものに○をつけてください。

《第1子》

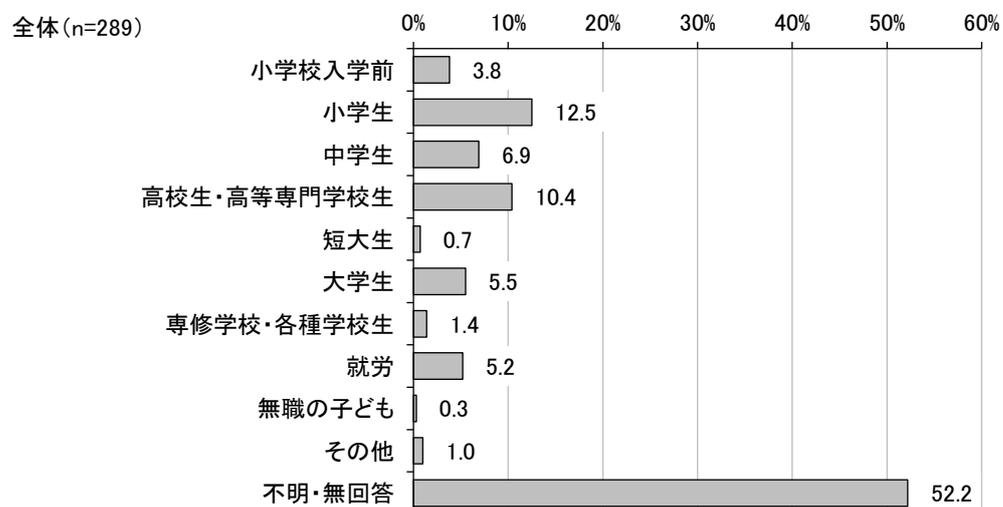
「小学生」が24.6%と最も高く、次いで「中学生」が15.6%、「高校生・高等専門学校生」が15.2%となっています。



## 【資料6】

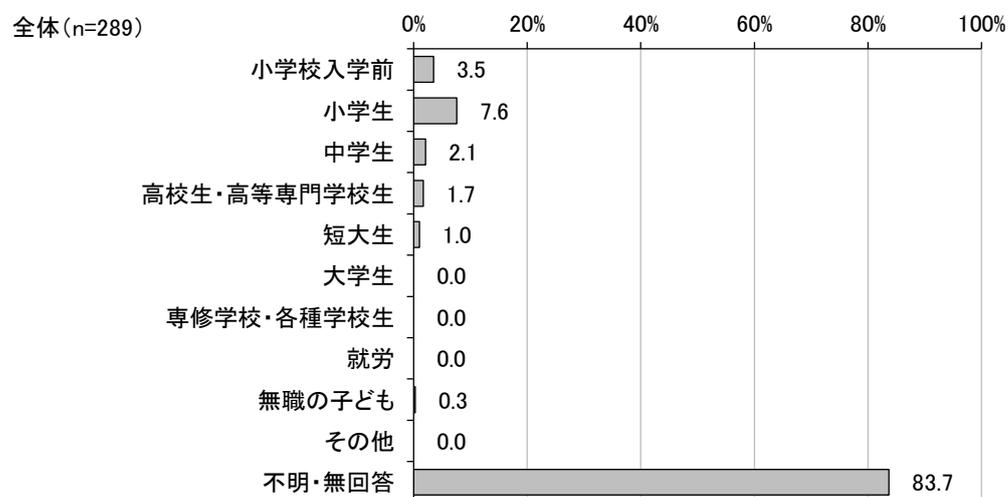
## 《第2子》

「小学生」が12.5%と最も高く、次いで「高校生・高等専門学校生」が10.4%、「中学生」が6.9%となっています。



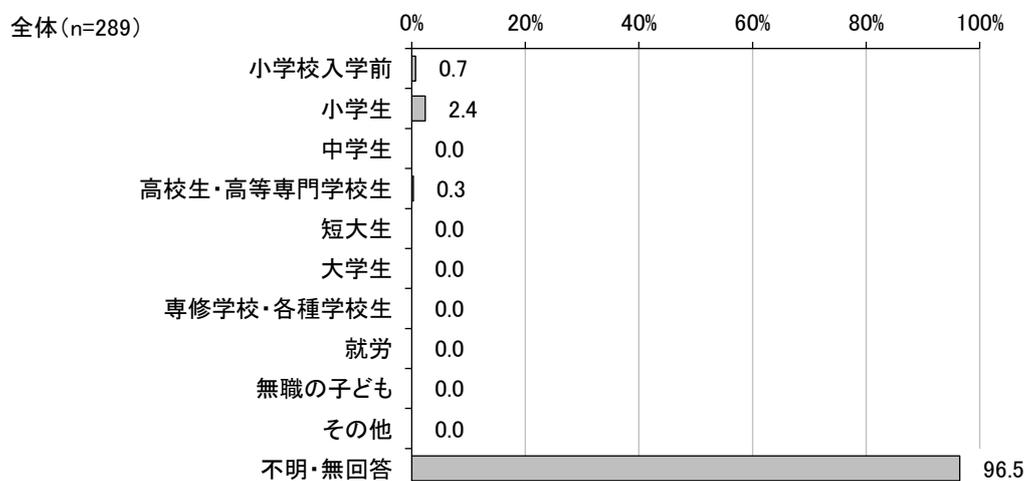
## 《第3子》

「小学生」が7.6%と最も高く、次いで「小学校入学前」が3.5%、「中学生」が2.1%となっています。



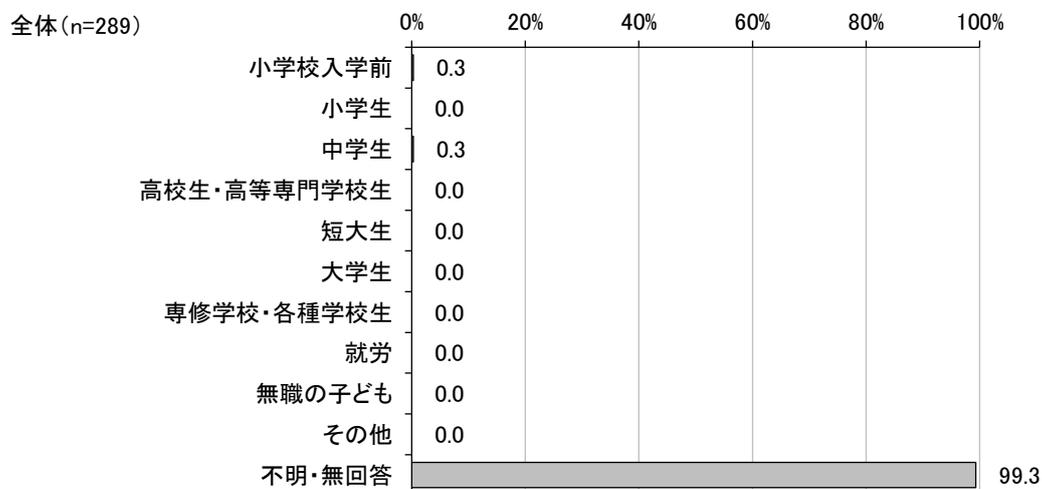
《第4子》

「小学生」が2.4%と最も高く、次いで「小学校入学前」が0.7%、「高校生・高等専門学校生」が0.3%となっています。



《第5子》

「小学校入学前」「中学生」が0.3%となっています。

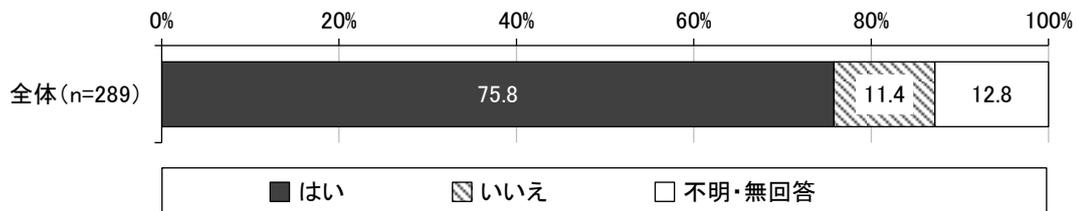


## 【資料6】

【問4-2③】ご一緒にお住まいのお子さんについて、お子さんごとに扶養状況について、当てはまるものに○をつけてください。

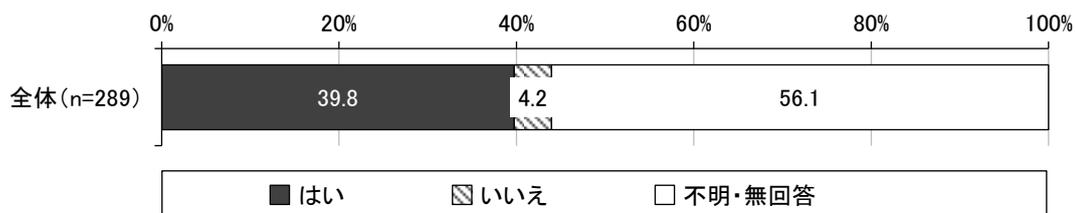
### 《第1子》

「はい」が75.8%と、「いいえ」の11.4%を上回っています。



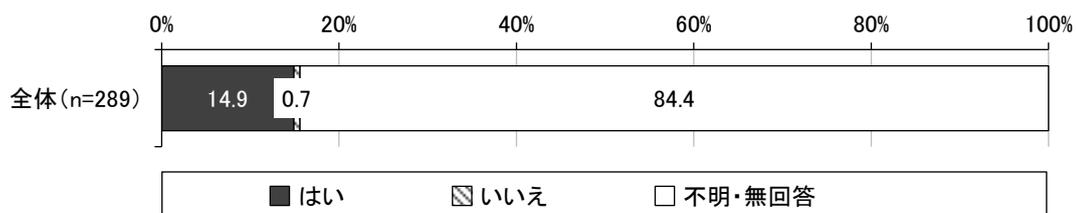
### 《第2子》

「はい」が39.8%と、「いいえ」の4.2%を上回っています。



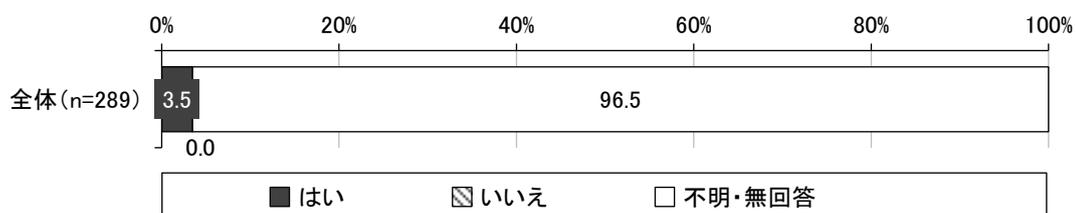
### 《第3子》

「はい」が14.9%と、「いいえ」の0.7%を上回っています。



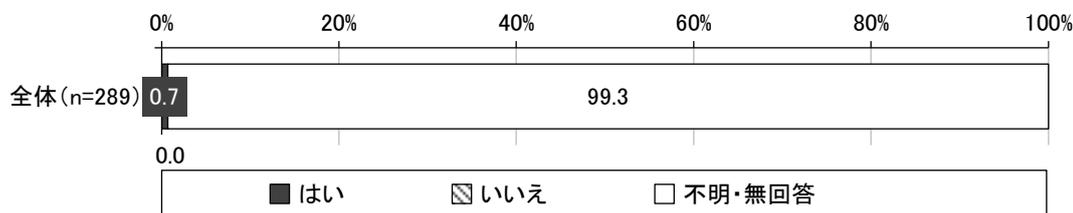
### 《第4子》

「はい」が3.5%となっています。



《第5子》

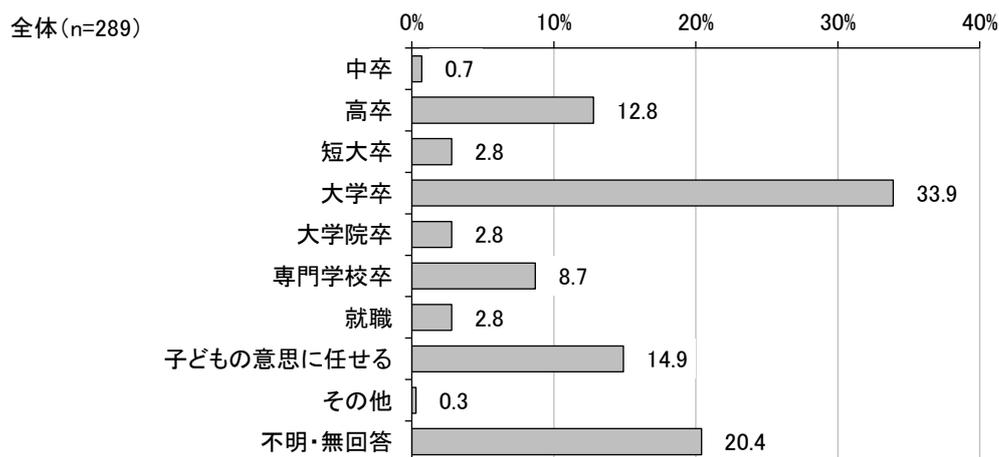
「はい」が0.7%となっています。



【問4-2④】 ご一緒にお住まいのお子さんについて、お子さんごとに希望する（していた）進路・進学等について、当てはまるものに○をつけてください。

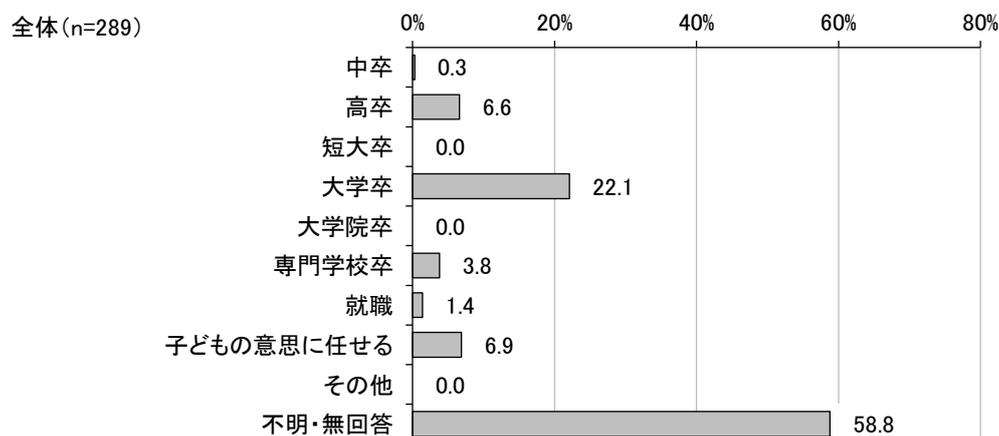
《第1子》

「大学卒」が33.9%と最も高く、次いで「子どもの意思に任せる」が14.9%、「高卒」が12.8%となっています。



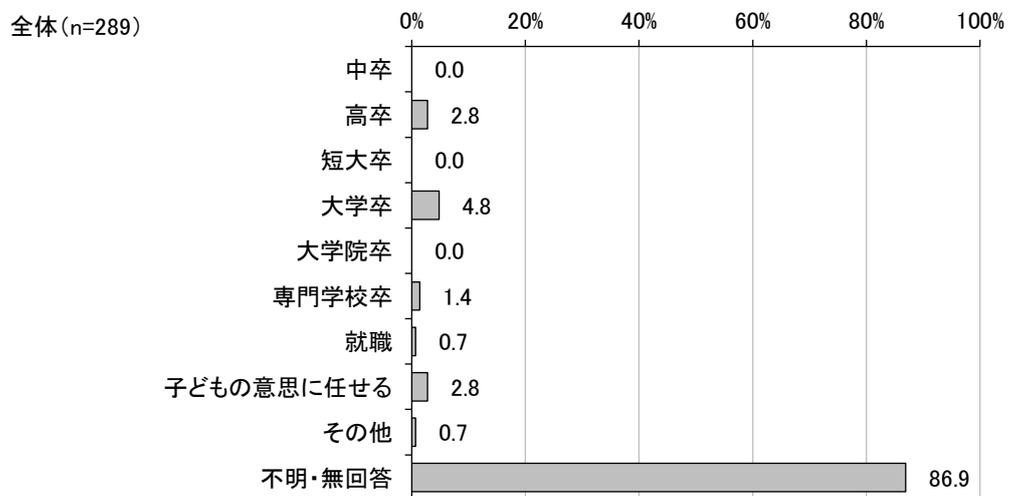
《第2子》

「大学卒」が22.1%と最も高く、次いで「子どもの意思に任せる」が6.9%、「高卒」が6.6%となっています。



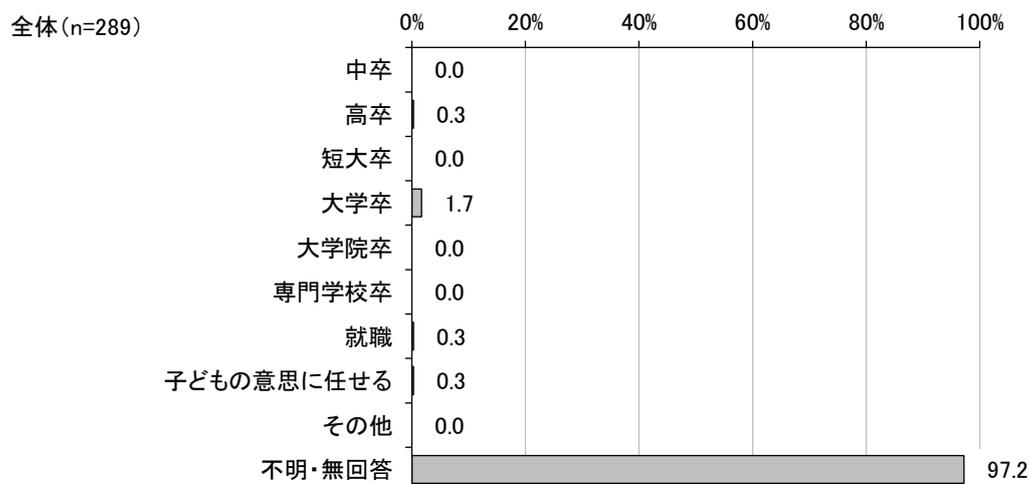
《第3子》

「大学卒」が4.8%と最も高く、次いで「高卒」「子どもの意思に任せる」が2.8%となっています。



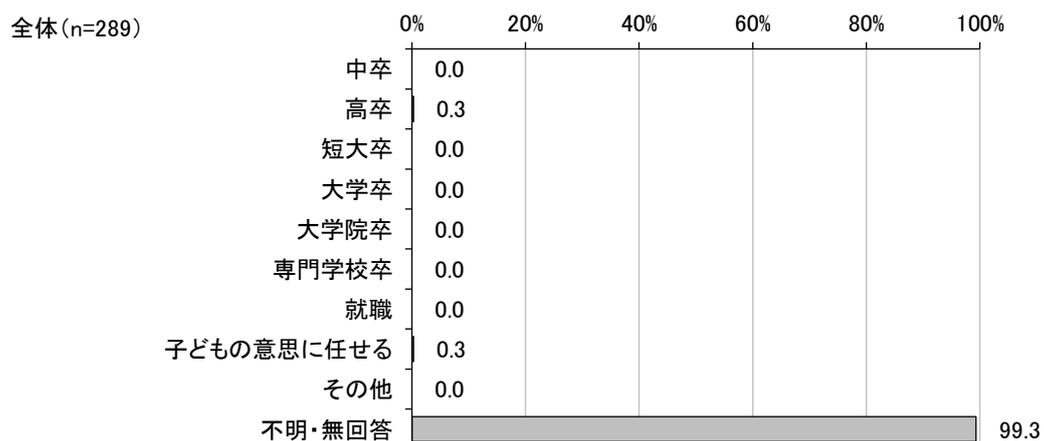
《第4子》

「大学卒」が1.7%と最も高く、次いで「高卒」「就職」「子どもの意思に任せる」が0.3%となっています。



《第5子》

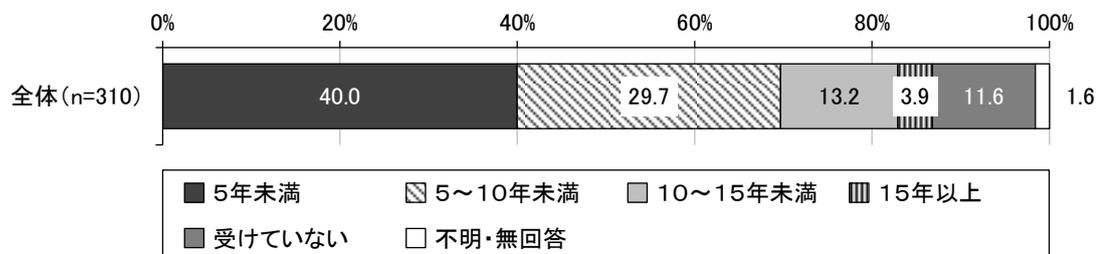
「高卒」「子どもの意思に任せる」が0.3%となっています。



## 【資料6】

【問5】あなたは児童扶養手当を何年間受けておられますか。なお、寡婦の方は何年間受けておられましたか。

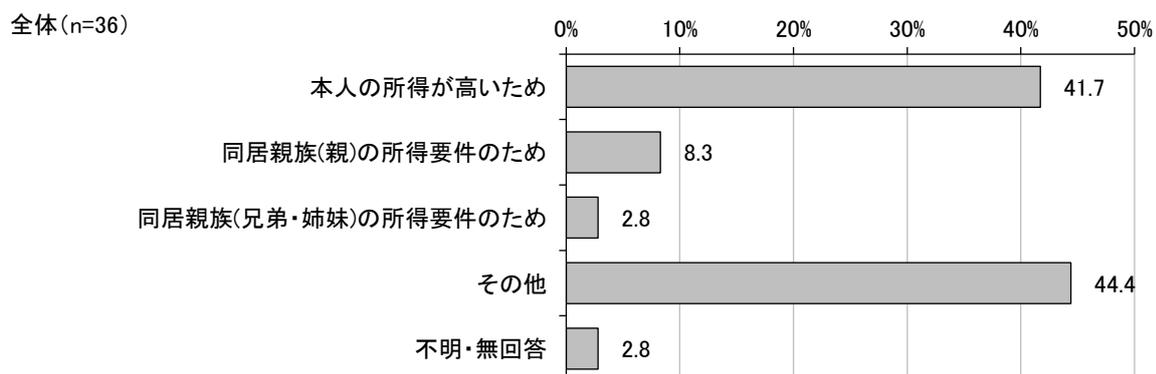
「5年未満」が40.0%と最も高く、次いで「5～10年未満」が29.7%、「10～15年未満」が13.2%となっています。



問5で「受けていない」と回答された方

【問5-2】児童扶養手当を受けておられない理由は何ですか。

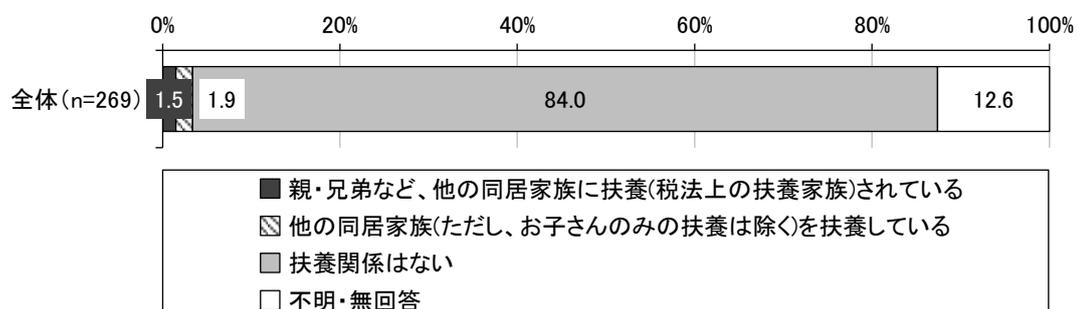
「その他」が44.4%と最も高く、次いで「本人の所得が高いため」が41.7%、「同居親族(親)の所得要件のため」が8.3%となっています。



ひとり親の方

【問5-3】あなたの現在の扶養関係について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

「扶養関係はない」が84.0%と最も高く、次いで「他の同居家族(ただし、お子さんのみの扶養は除く)を扶養している」が1.9%、「親・兄弟など、他の同居家族に扶養(税法上の扶養家族)されている」が1.5%となっています。

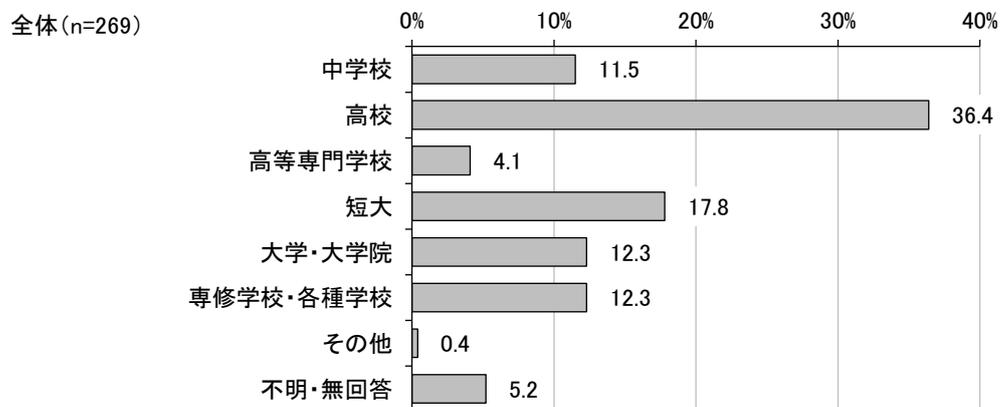


## 【資料6】

## ひとり親の方

【問6】あなたの最終学歴について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

「高校」が36.4%と最も高く、次いで「短大」が17.8%、「大学・大学院」「専修学校・各種学校」が12.3%となっています。

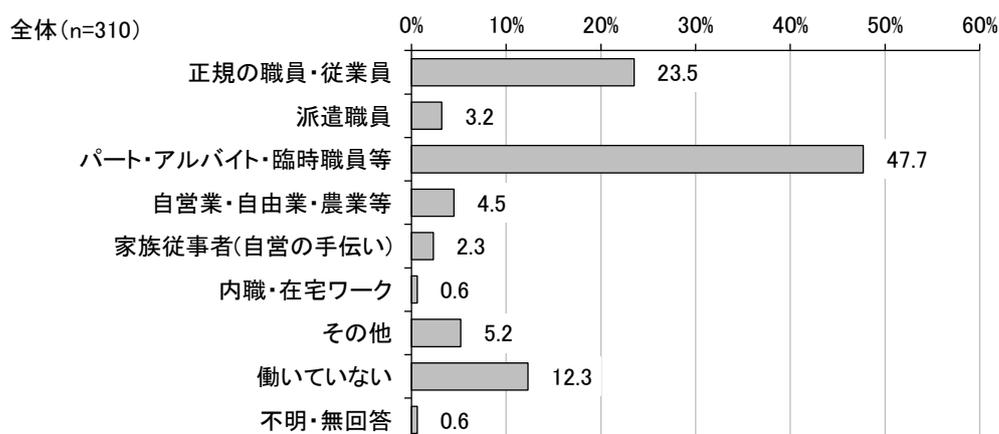


## 2 お仕事について

【問7】「ひとり親家庭となる前」、「なった後」、「現在」のあなたのお仕事の変化について、それぞれ主に当てはまるもの1つに○をつけてください。なお、寡婦の方は、母子家庭の時を振り返ってお書きください。

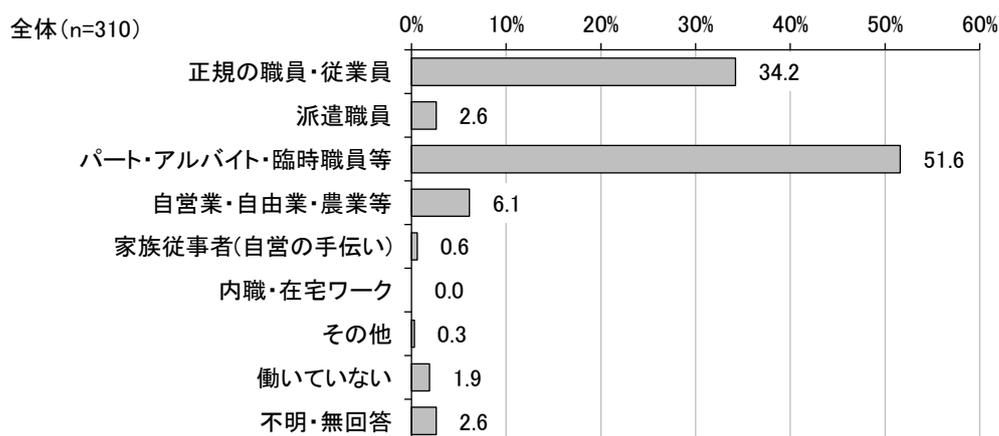
## 《就業形態・なる前》

「パート・アルバイト・臨時職員等」が47.7%と最も高く、次いで「正規の職員・従業員」が23.5%、「働いていない」が12.3%となっています。



## 《就業形態・なった後》

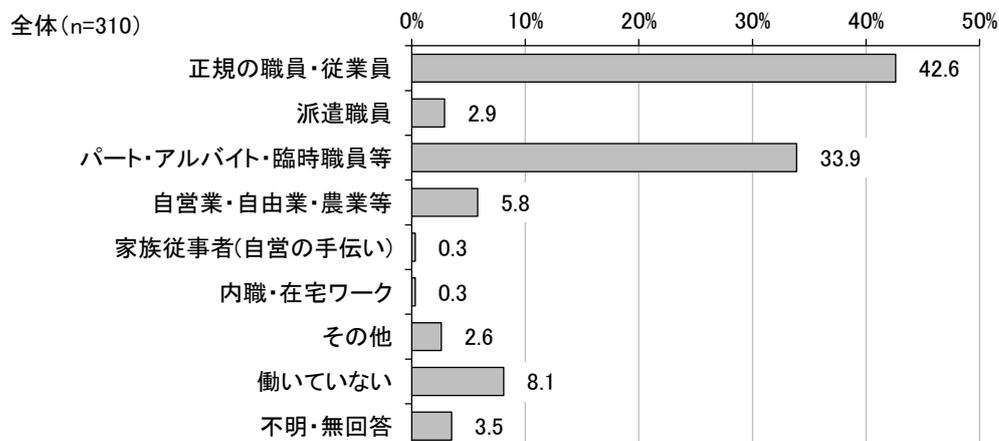
「パート・アルバイト・臨時職員等」が51.6%と最も高く、次いで「正規の職員・従業員」が34.2%、「自営業・自由業・農業等」が6.1%となっています。



## 【資料6】

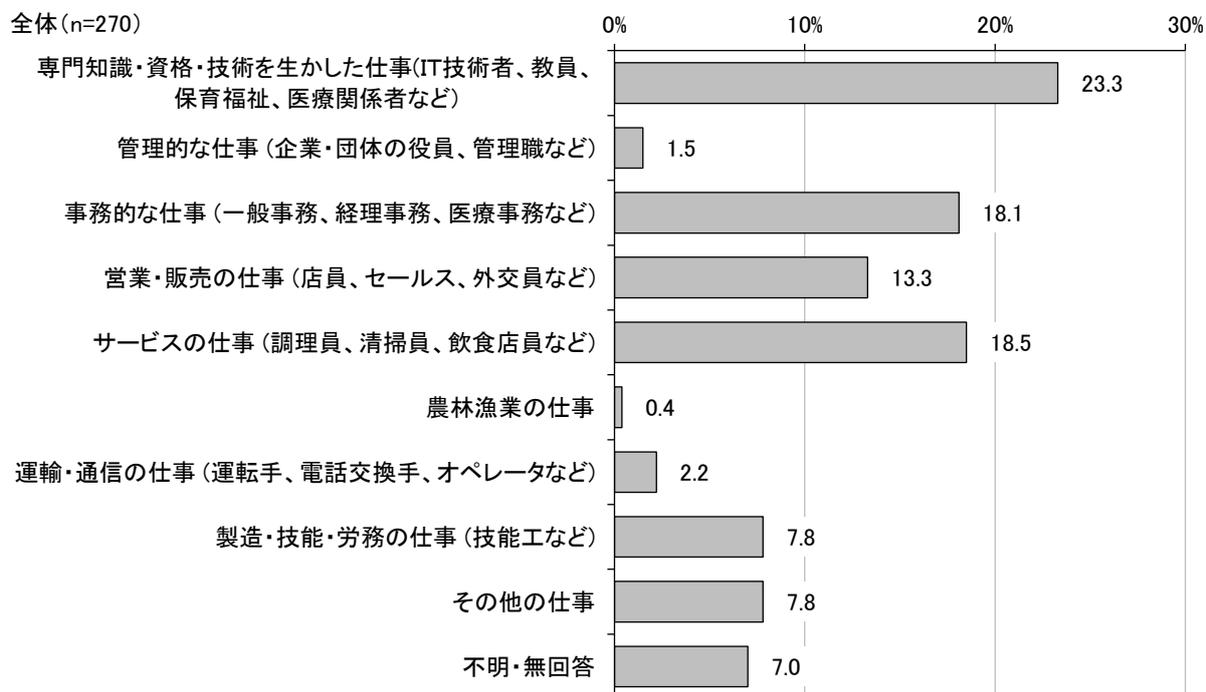
### 《就業形態・現在》

「正規の職員・従業員」が42.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・臨時職員等」が33.9%、「働いていない」が8.1%となっています。



### 《職種・なる前》

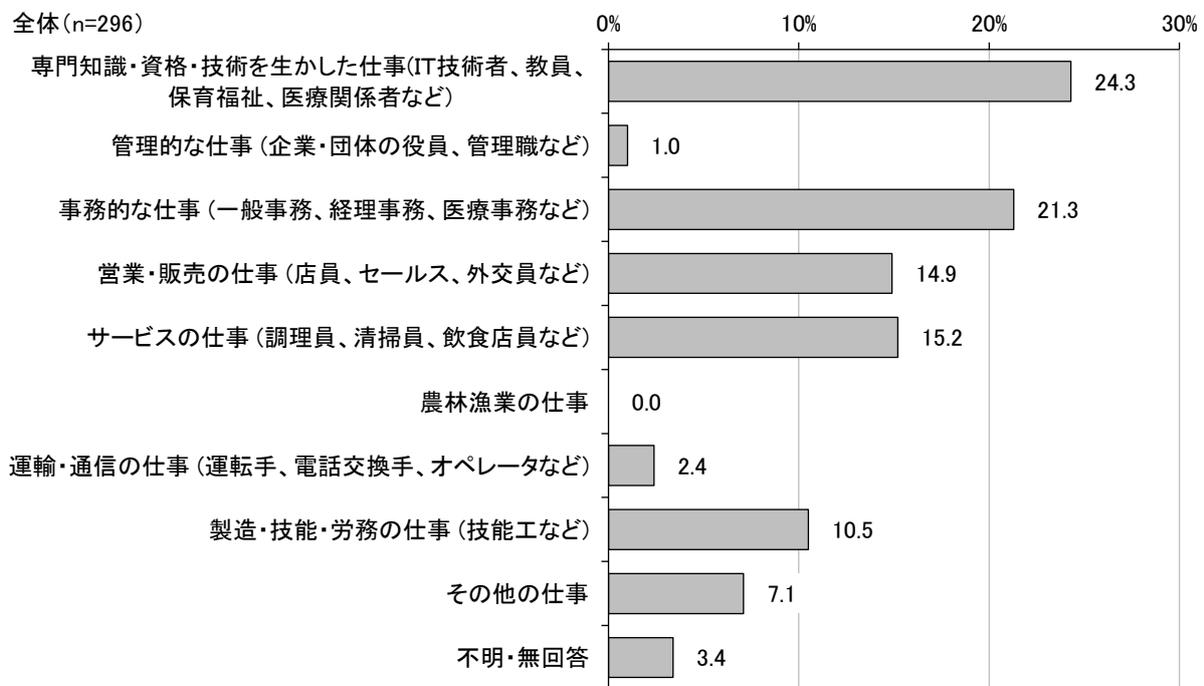
「専門知識・資格・技術を生かした仕事(IT技術者、教員、保育福祉、医療関係者など)」が23.3%と最も高く、次いで「サービスの仕事(調理員、清掃員、飲食店員など)」が18.5%、「事務的な仕事(一般事務、経理事務、医療事務など)」が18.1%となっています。



## 【資料6】

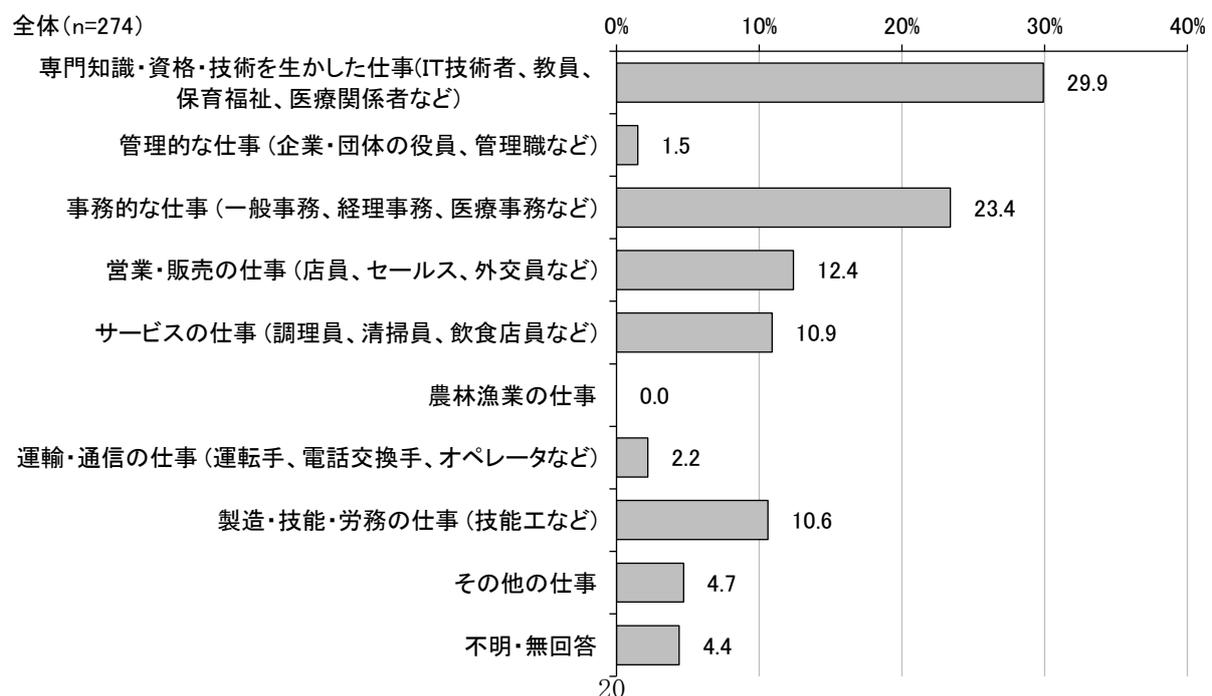
### 《職種・なった後》

「専門知識・資格・技術を生かした仕事(IT技術者、教員、保育福祉、医療関係者など)」が24.3%と最も高く、次いで「事務的な仕事(一般事務、経理事務、医療事務など)」が21.3%、「サービスの仕事(調理員、清掃員、飲食店員など)」が15.2%となっています。



### 《職種・現在》

「専門知識・資格・技術を生かした仕事(IT技術者、教員、保育福祉、医療関係者など)」が29.9%と最も高く、次いで「事務的な仕事(一般事務、経理事務、医療事務など)」が23.4%、「営業・販売の仕事(店員、セールス、外交員など)」が12.4%となっています。



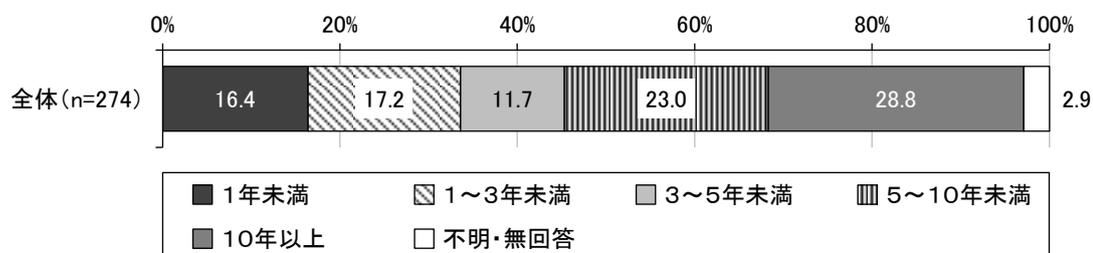
## 【資料6】

## 【資料6】

問7で、現在、お仕事をされていると回答された方（就業形態で「働いていない」以外に○をつけられた方）

【問7-2】現在のお仕事の勤続年数について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

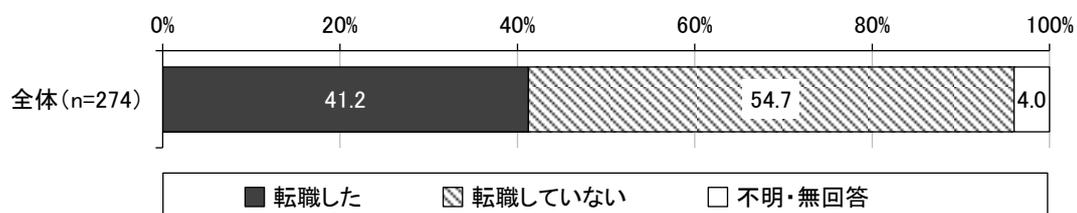
「10年以上」が28.8%と最も高く、次いで「5～10年未満」が23.0%、「1～3年未満」が17.2%となっています。



問7で、現在、お仕事をされていると回答された方（就業形態で「働いていない」以外に○をつけられた方）

【問7-3】ひとり親となられたことを契機に、転職をしましたか。

「転職していない」が54.7%と、「転職した」の41.2%を上回っています。

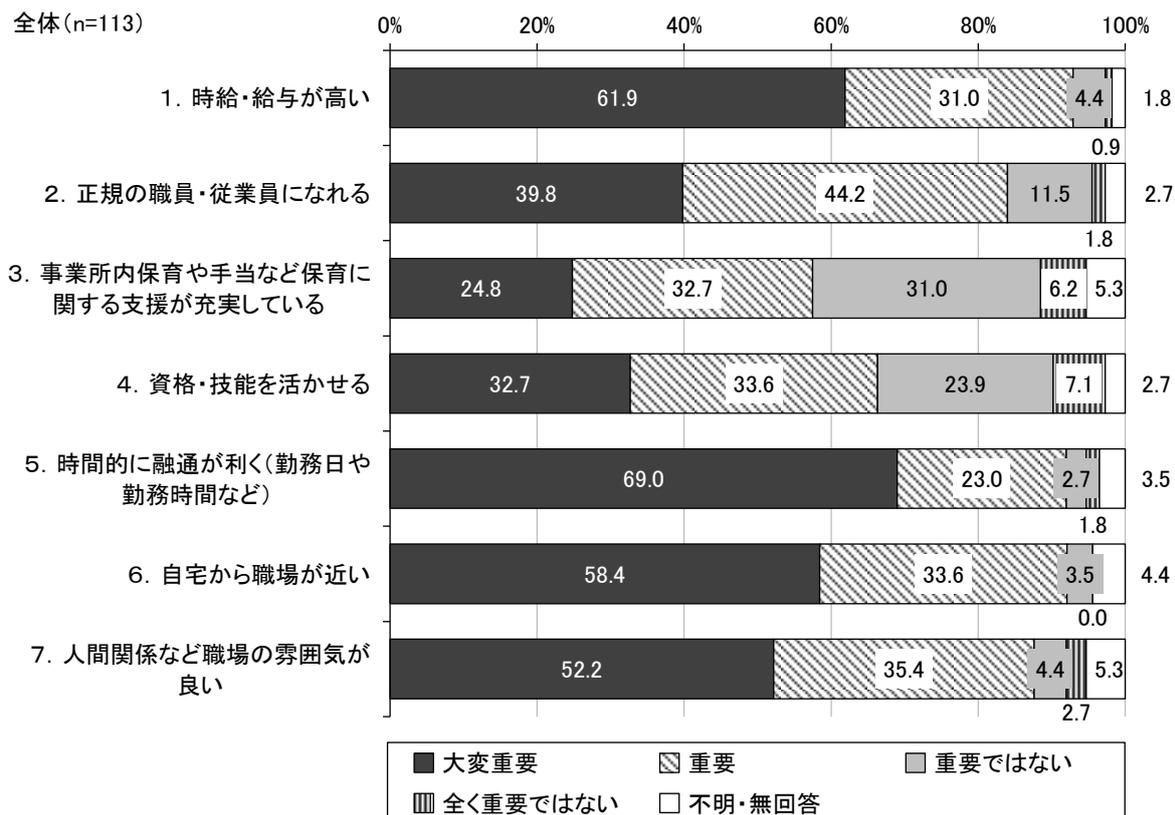


## 【資料6】

問7-3で「転職した」と回答された方

【問7-4】転職を考慮する際、次の項目はどの程度重要でしたか。(該当する枠に○)

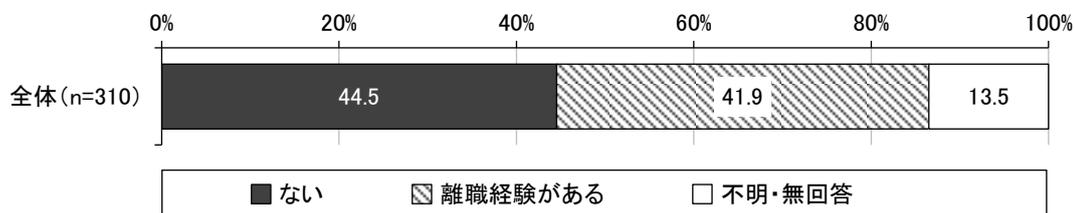
[2. 正規の職員・従業員になれる][3. 事業所内保育や手当など保育に関する支援が充実している][4. 資格・技能を活かせる]では「重要」、それ以外の項目では「大変重要」が最も高くなっています。また、[3. 事業所内保育や手当など保育に関する支援が充実している][4. 資格・技能を活かせる]では「重要ではない」が他の項目と比べて高くなっています。



## 【資料6】

【問7-5】ひとり親になってから現在までの間に、離職（お仕事を辞めた）経験はありますか。

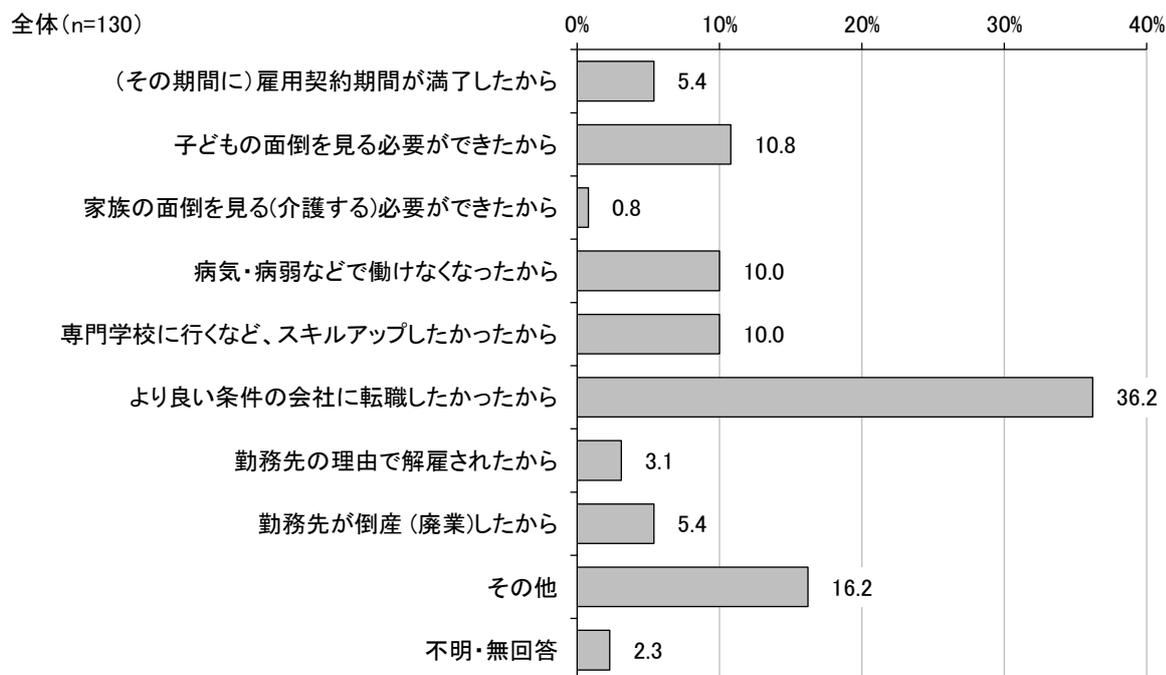
「ない」が44.5%と、「離職経験がある」の41.9%を上回っています。



問7-5で「離職経験がある」と回答された方

【問7-6】離職の理由について、最も大きな理由1つに○をつけてください。

「より良い条件の会社に転職したかったから」が36.2%と最も高く、次いで「その他」が16.2%、「子どもの面倒を見る必要ができたから」が10.8%となっています。

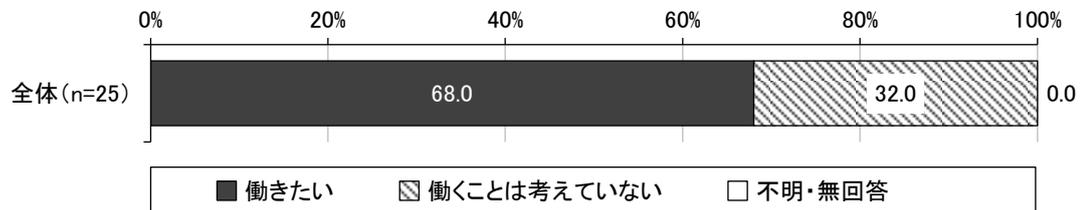


## 【資料6】

問7で、現在「働いていない」と回答された方

【問8】あなたは、働きたいという希望をお持ちですか。

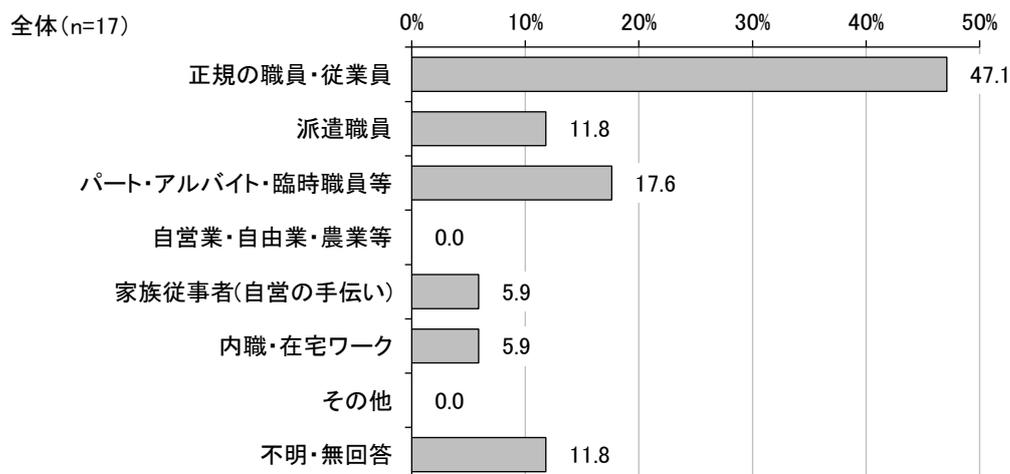
「働きたい」が68.0%と、「働くことは考えていない」の32.0%を上回っています。



問8で「働きたい」と回答された方

【問8-2】就業にあたって、どのような就業形態を希望されますか。問7の就業形態欄の中から、あてはまる番号をご記入ください。

「正規の職員・従業員」が47.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・臨時職員等」が17.6%、「派遣職員」が11.8%となっています。

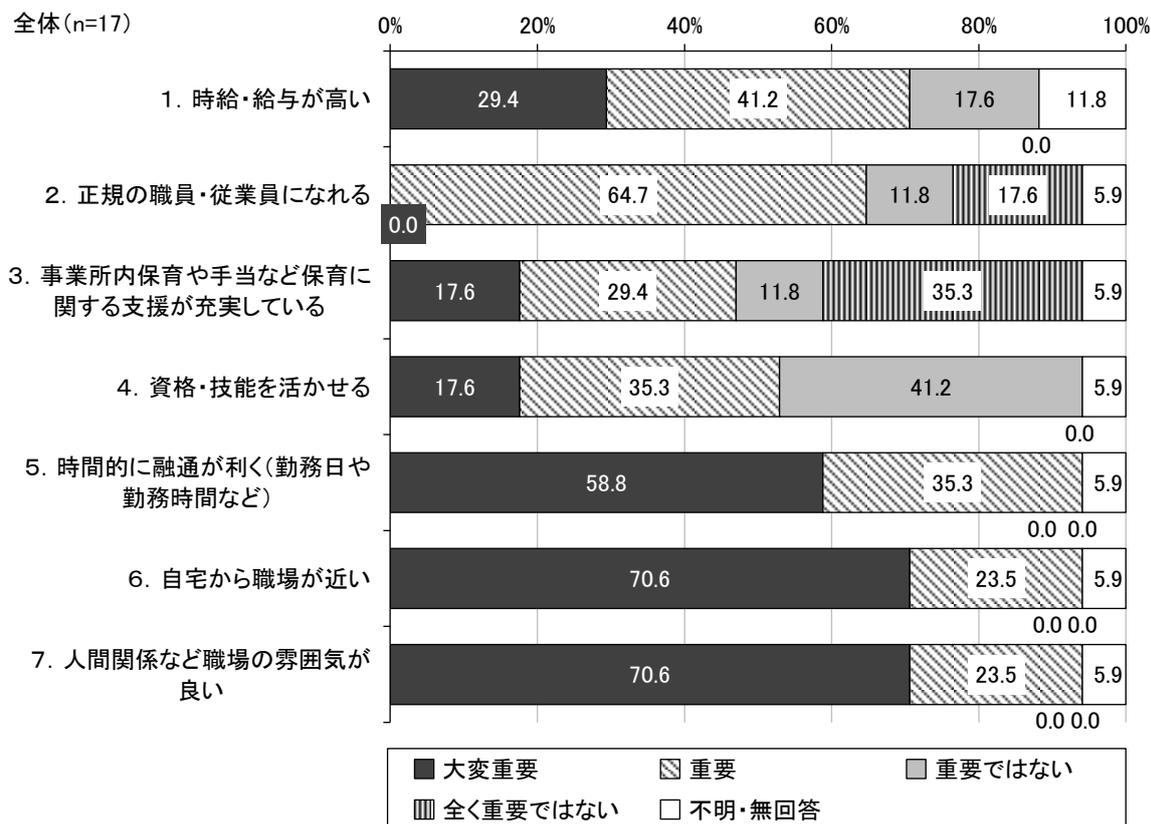


## 【資料6】

### 問8で「働きたい」と回答された方

【問8-3】就業にあたって、次の項目はどの程度重要ですか。（該当する枠に○）

[1. 時給・給与が高い][2. 正規の職員・従業員になれる]では「重要」、[3. 事業所内保育や手当など保育に関する支援が充実している]では「全く重要ではない」、[4. 資格・技能を活かせる]では「重要ではない」、それ以外の項目では「大変重要」が最も高くなっています。

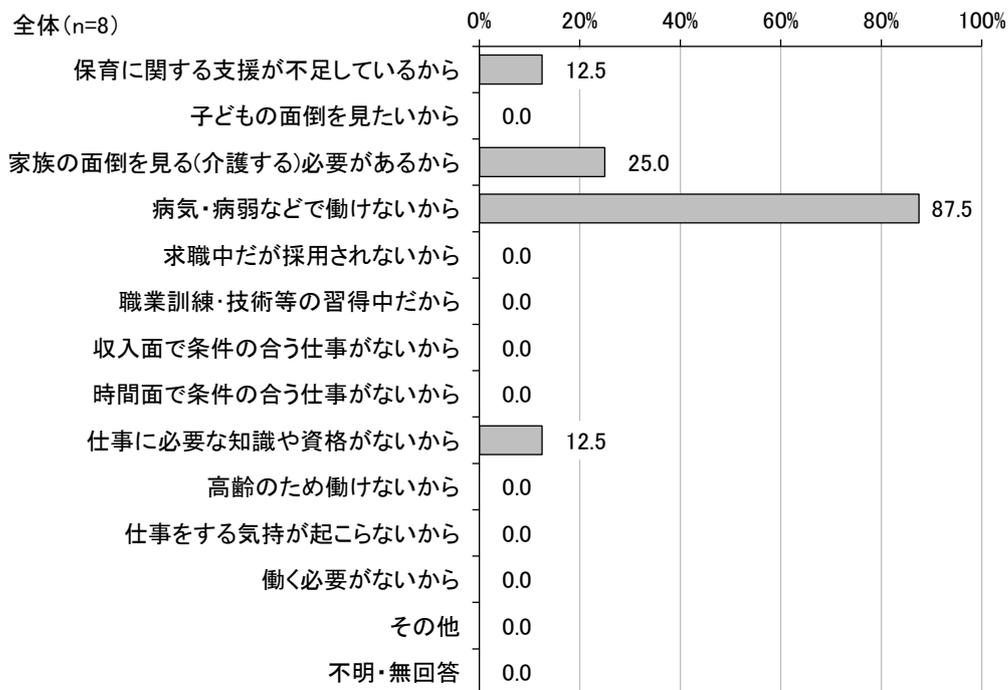


## 【資料6】

問8で「働くことは考えていない」と回答された方

【問8-4】働いておられない(働くことができない)理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

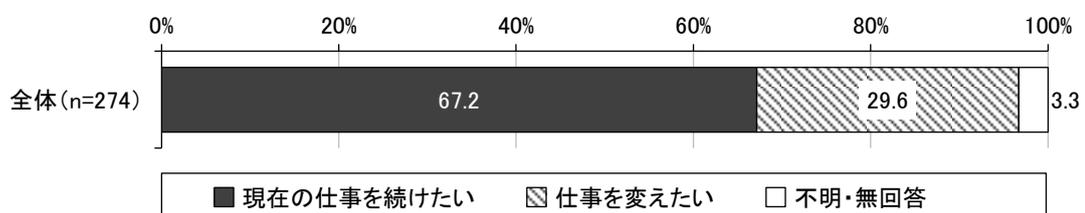
「病気・病弱などで働けないから」が87.5%と最も高く、次いで「家族の面倒を見る(介護する)必要があるから」が25.0%、「保育に関する支援が不足しているから」「仕事に必要な知識や資格がないから」が12.5%となっています。



問7で、現在、お仕事をされていると回答された方(就業形態で「働いていない」以外に○をつけられた方)

【問9】現在のお仕事から、転職する希望はありますか。

「現在の仕事を続けたい」が67.2%と、「仕事を変えたい」の29.6%を上回っています。

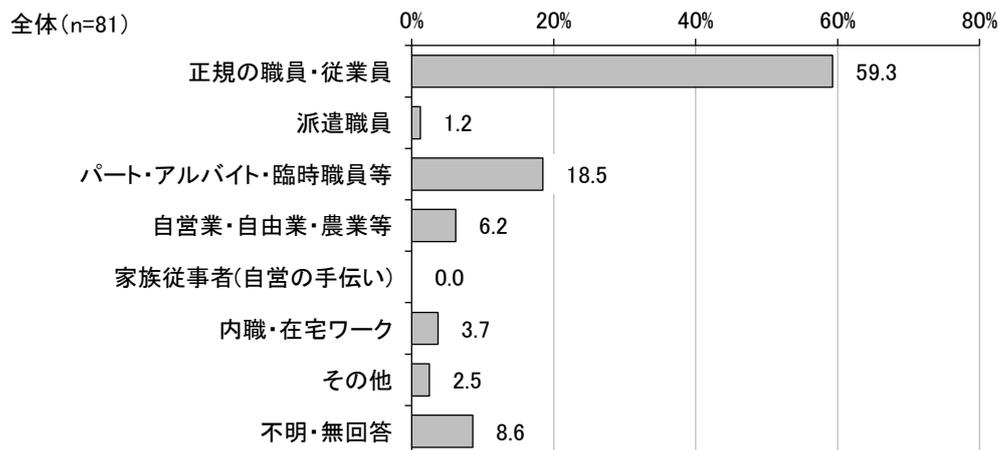


## 【資料6】

### 問9で「仕事を变えたい」と回答された方

【問9-2】就業にあたって、どのような就業形態を希望されますか。問7の就業形態欄の中から、あてはまる番号をご記入ください。

「正規の職員・従業員」が59.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・臨時職員等」が18.5%、「自営業・自由業・農業等」が6.2%となっています。

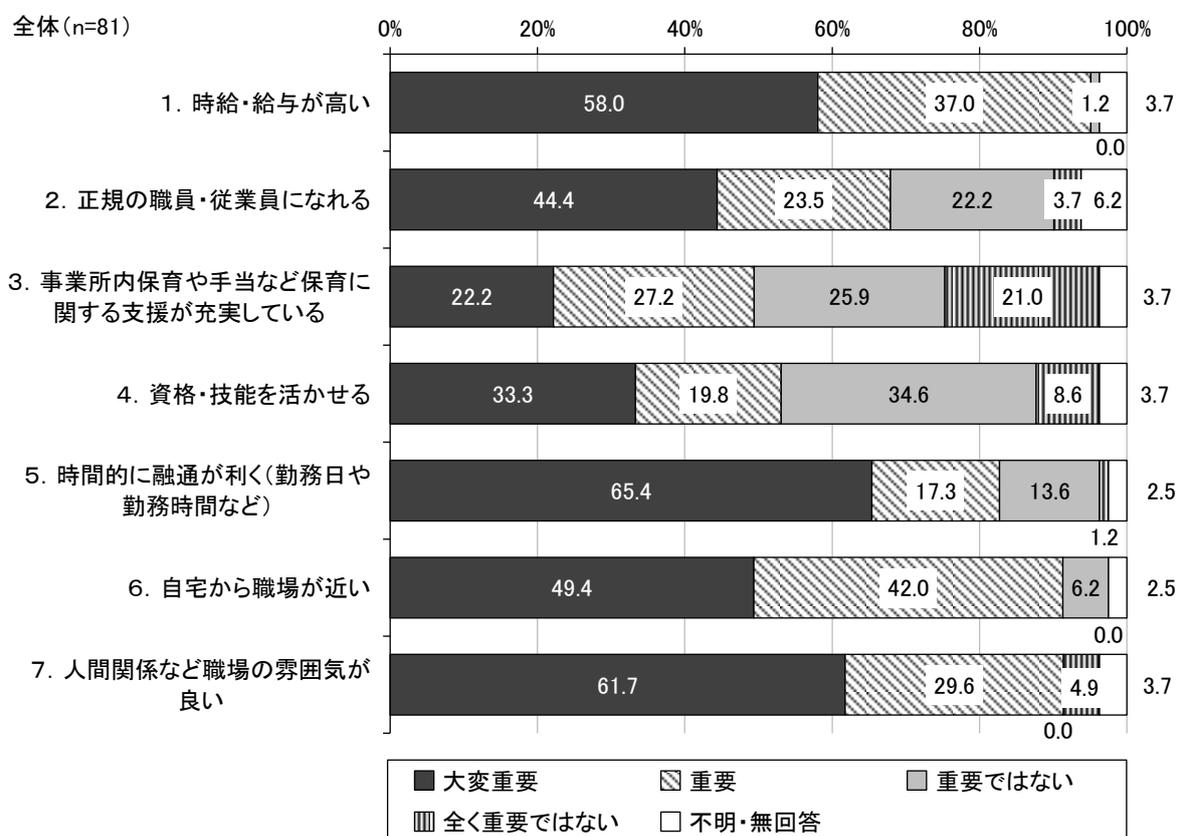


## 【資料6】

問9で「仕事を变えたい」と回答された方

【問9-3】転職を考慮する際、次の項目はどの程度重要ですか。(該当する枠に○)

[3. 事業所内保育や手当など保育に関する支援が充実している]では「重要」、[4. 資格・技能を活かせる]では「重要ではない」、それ以外の項目では「大変重要」が最も高くなっています。

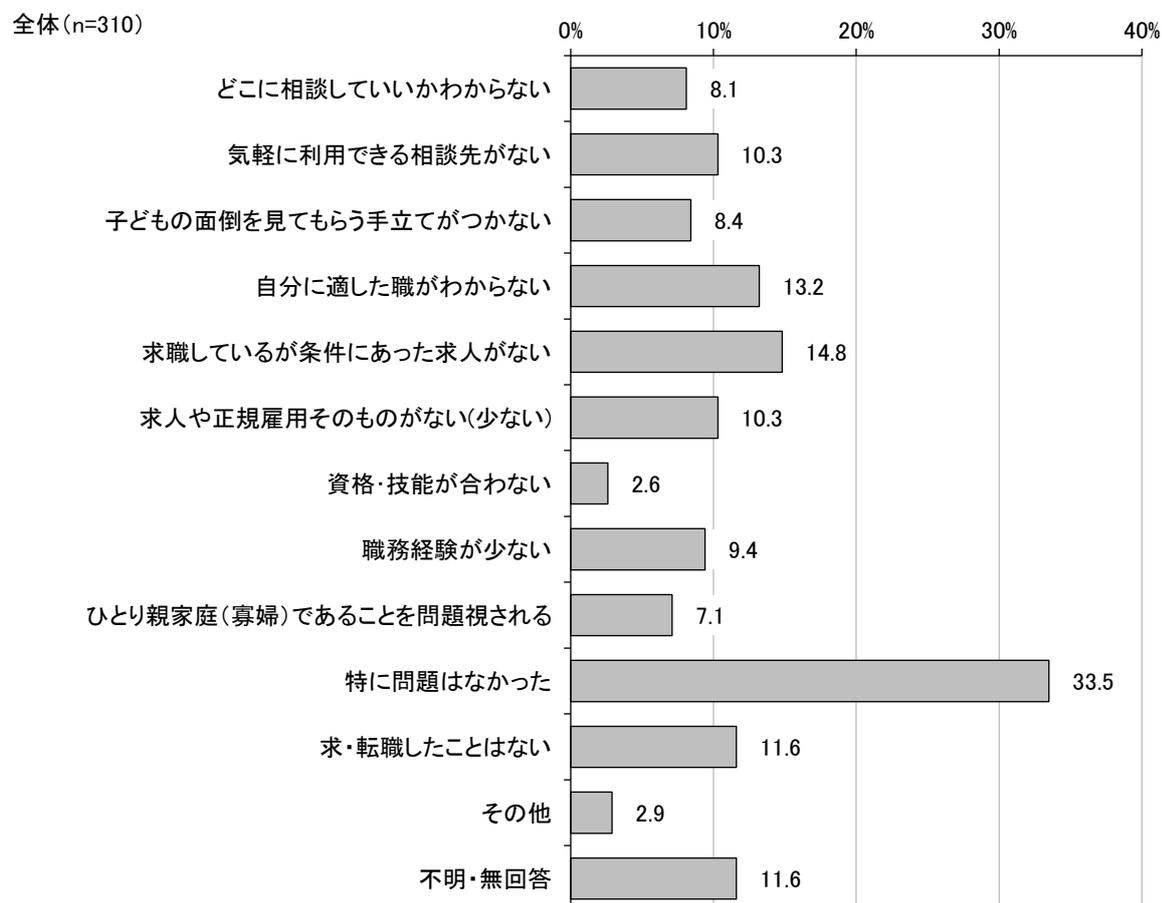


## 【資料6】

【問10】現在又は直近の求職・転職活動において何か問題はありましたか。

(当てはまるもの全てに○)

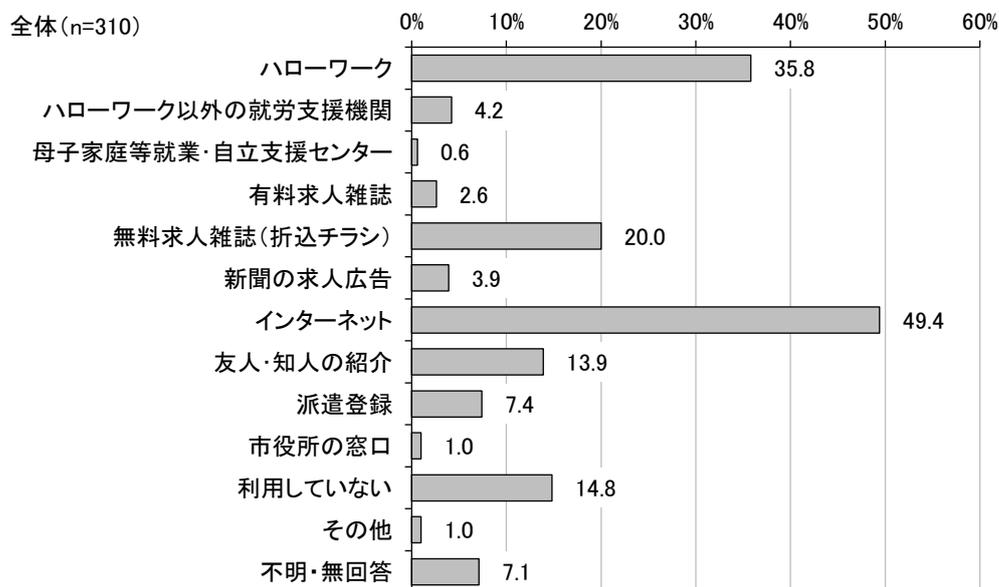
「特に問題はなかった」が33.5%と最も高く、次いで「求職しているが条件にあった求人がない」が14.8%、「自分に適した職がわからない」が13.2%となっています。



## 【資料6】

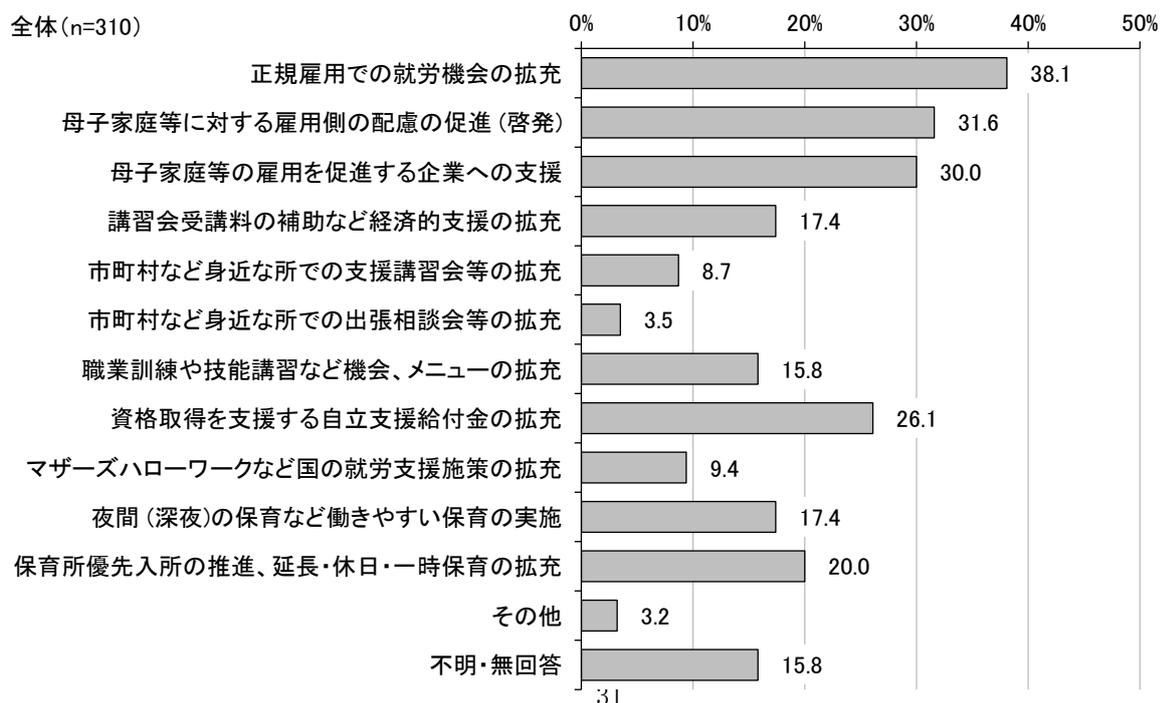
【問11】直近の仕事を探す際に、どのような情報源を利用されましたか。  
 (当てはまるもの全てに○)

「インターネット」が49.4%と最も高く、次いで「ハローワーク」が35.8%、「無料求人雑誌(折込チラシ)」が20.0%となっています。



【問12】労働環境の改善について、どのような施策を行政に望まれますか。  
 (当てはまるもの全てに○)

「正規雇用での就労機会の拡充」が38.1%と最も高く、次いで「母子家庭等に対する雇用側の配慮の促進(啓発)」が31.6%、「母子家庭等の雇用を促進する企業への支援」が30.0%となっています。

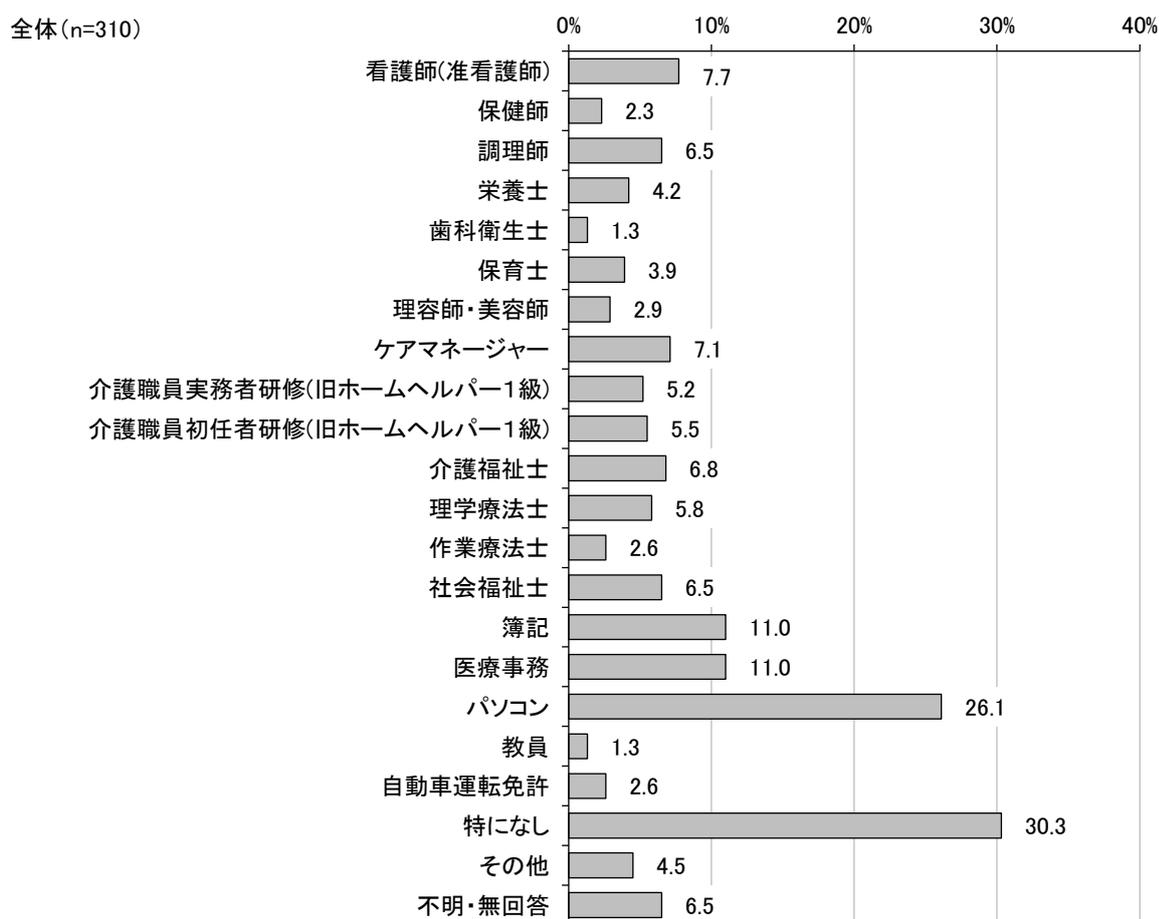


## 【資料6】

### 3 資格・技能について

【問13】就職やキャリアアップにあたって、あなたが今後習得したい資格・技能はどれですか。  
(当てはまるもの全てに○)

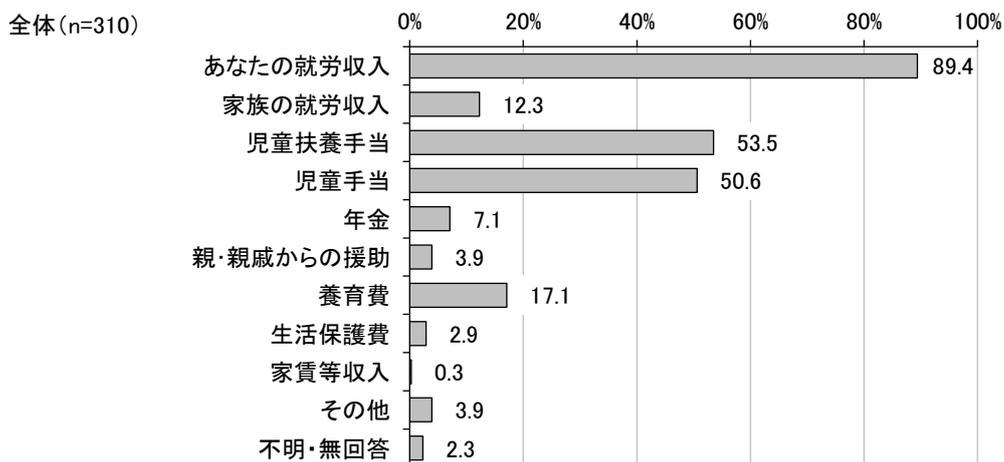
「特になし」が30.3%と最も高く、次いで「パソコン」が26.1%、「簿記」「医療事務」が11.0%となっています。



## 4 収入と養育費・面会交流について

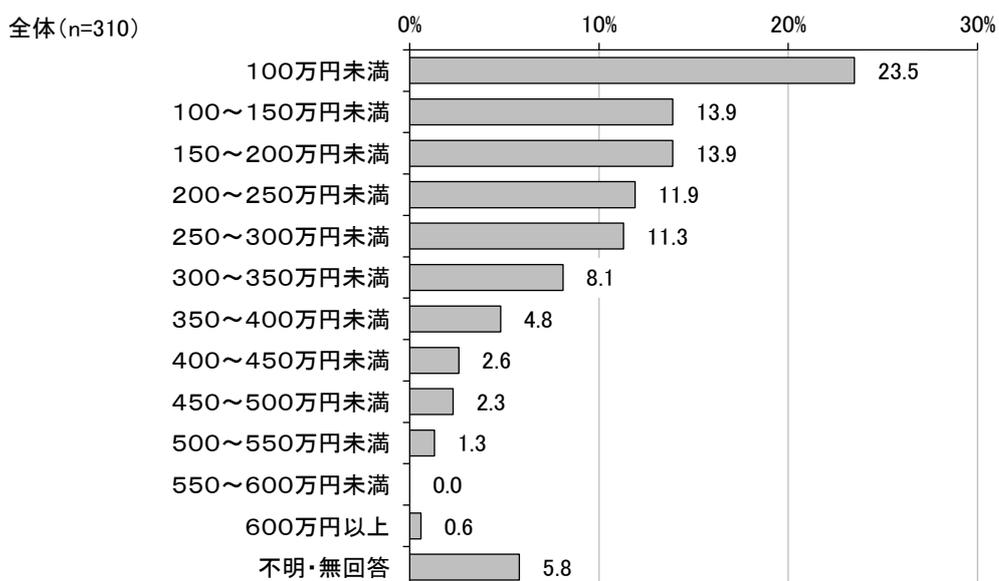
【問14】 あなたの世帯ではどのような収入がありますか。（当てはまるもの全てに○）

「あなたの就労収入」が 89.4%と最も高く、次いで「児童扶養手当」が 53.5%、「児童手当」が 50.6%となっています。



【問15】 あなたの令和4年（1月～12月）の年間総収入（税込み）はいくらでしたか。

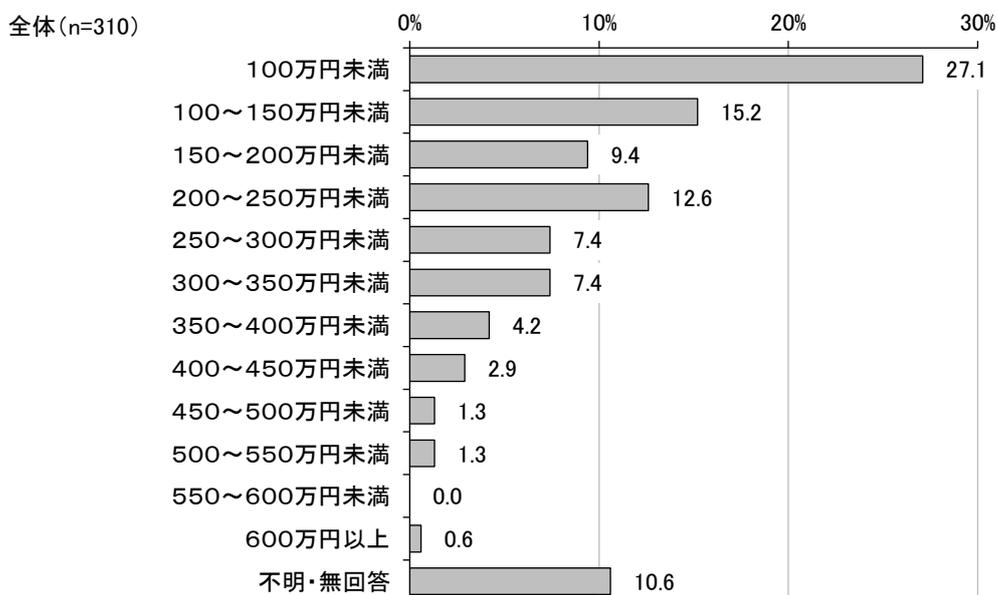
「100万円未満」が 23.5%と最も高く、次いで「100～150万円未満」「150～200万円未満」が 13.9%となっています。



## 【資料6】

【問 15-2】あなたの年間総収入（問 15 の回答）のうち、就労による収入はいくらですか。（問 15 の中から当てはまる番号をご記入ください）

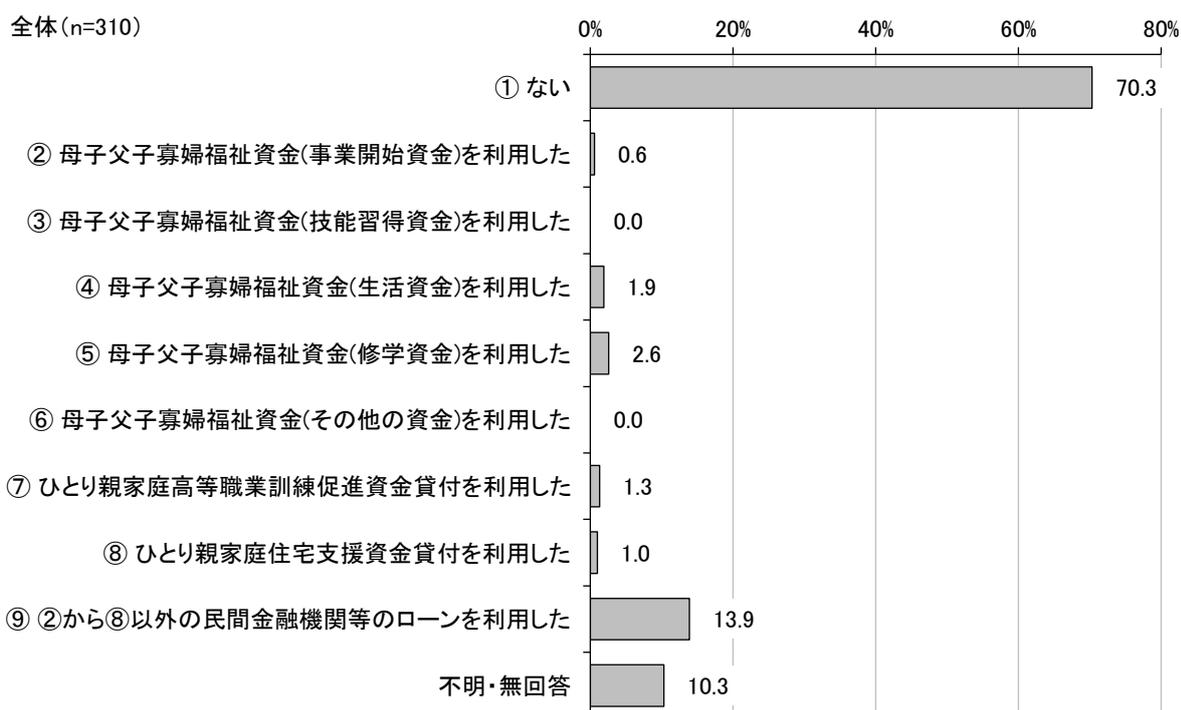
「100万円未満」が 27.1%と最も高く、次いで「100～150万円未満」が 15.2%、「200～250万円未満」が 12.6%となっています。



【問 16】あなたは現在までの間に、貸付（融資）制度を利用されましたか。

（当てはまるもの全てに○）

「①ない」が 70.3%と最も高く、次いで「②から⑧以外の民間金融機関等のローンを利用した」が 13.9%、「⑤母子父子寡婦福祉資金(修学資金)を利用した」が 2.6%となっています。



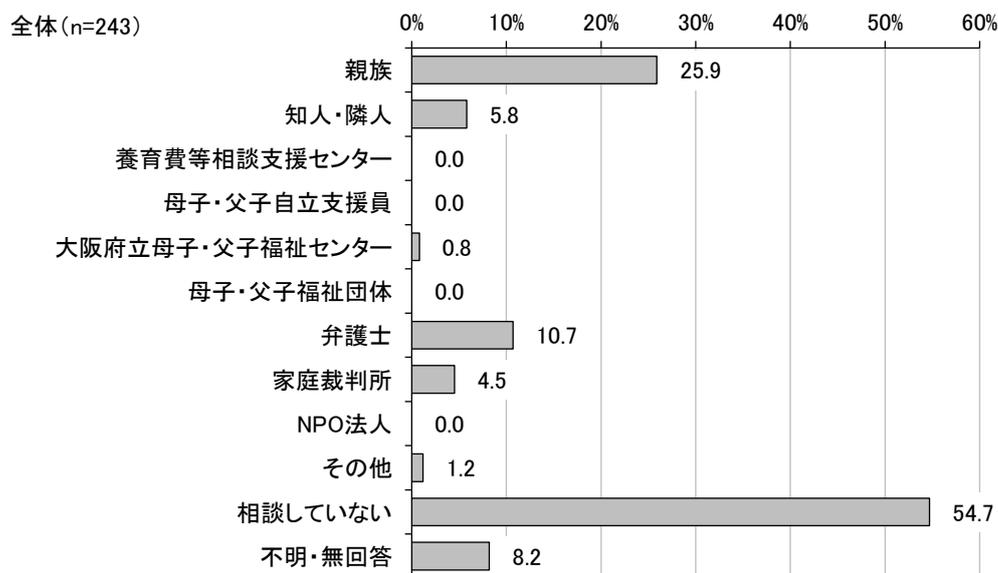
## 【資料6】

離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問17】お子さんの養育費のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。

（当てはまるもの全てに○）

「相談していない」が54.7%と最も高く、次いで「親族」が25.9%、「弁護士」が10.7%となっています。

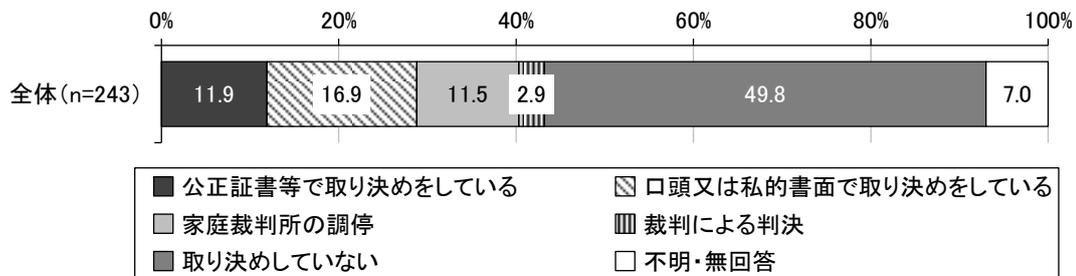


## 【資料6】

離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問17-2】養育費について、どのような取り決めをしていますか。

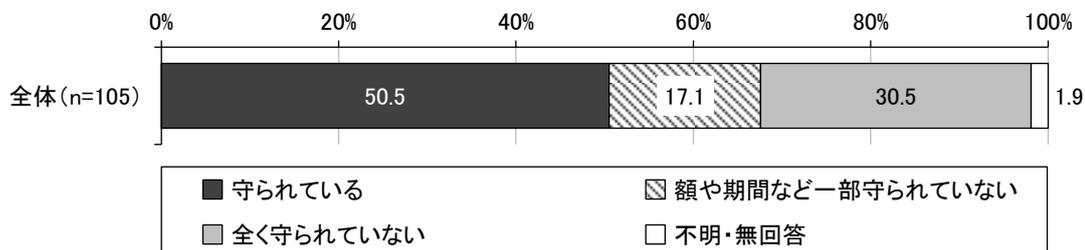
「取り決めしていない」が49.8%と最も高く、次いで「口頭又は私的書面で取り決めをしている」が16.9%、「公正証書等で取り決めをしている」が11.9%となっています。



問17-2で「公正証書等で取り決めをしている」～「裁判による判決」のいずれかを回答された方

【問17-3】養育費に関する取り決めは守られていますか。

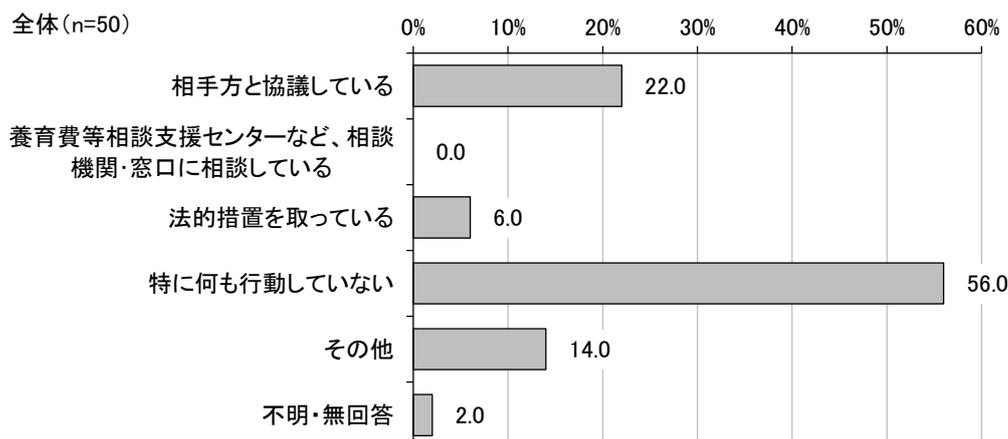
「守られている」が50.5%と最も高く、次いで「全く守られていない」が30.5%、「額や期間など一部守られていない」が17.1%となっています。



問17-3で「額や期間など一部守られていない」「全く守られていない」のいずれかを回答された方

【問17-4】養育費の取り決めが守られていないことに対して、何か行動されていますか。

「特に何も行動していない」が56.0%と最も高く、次いで「相手方と協議している」が22.0%、「その他」が14.0%となっています。

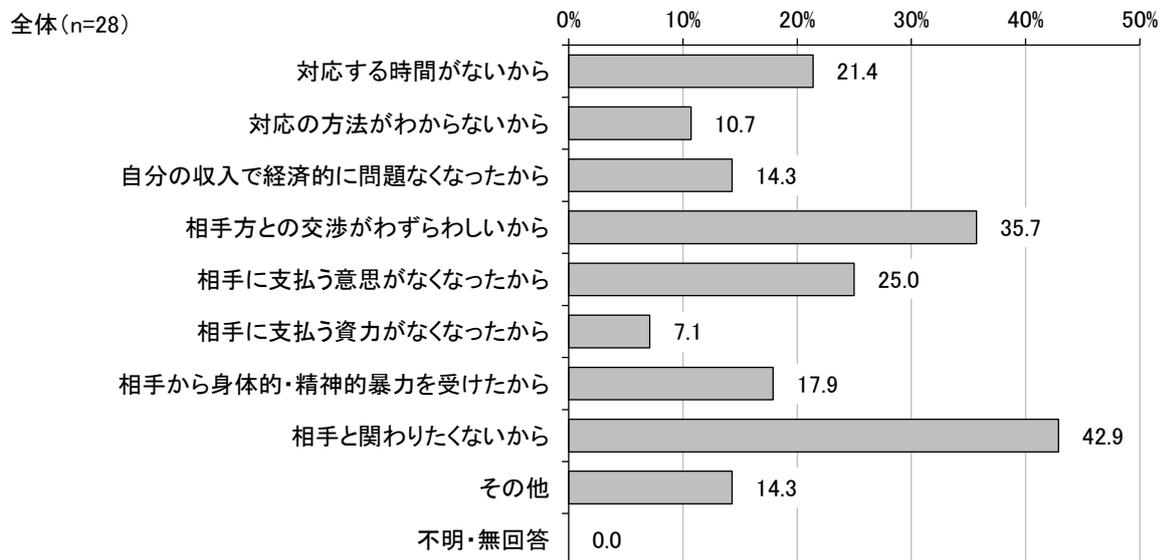


## 【資料6】

問 17-4 で「特に何も行動していない」を回答された方

【問 17-5】 特に何も行動しておられない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

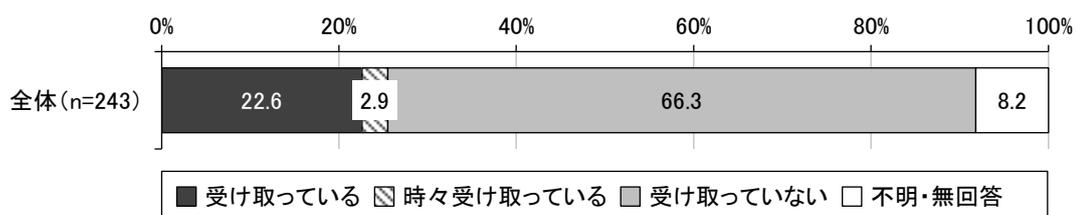
「相手と関わりたくないから」が 42.9%と最も高く、次いで「相手方との交渉がわずらわしいから」が 35.7%、「相手に支払う意思がなくなったから」が 25.0%となっています。



離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問 17-6】 あなたは養育費をいくら位受け取っていますか。

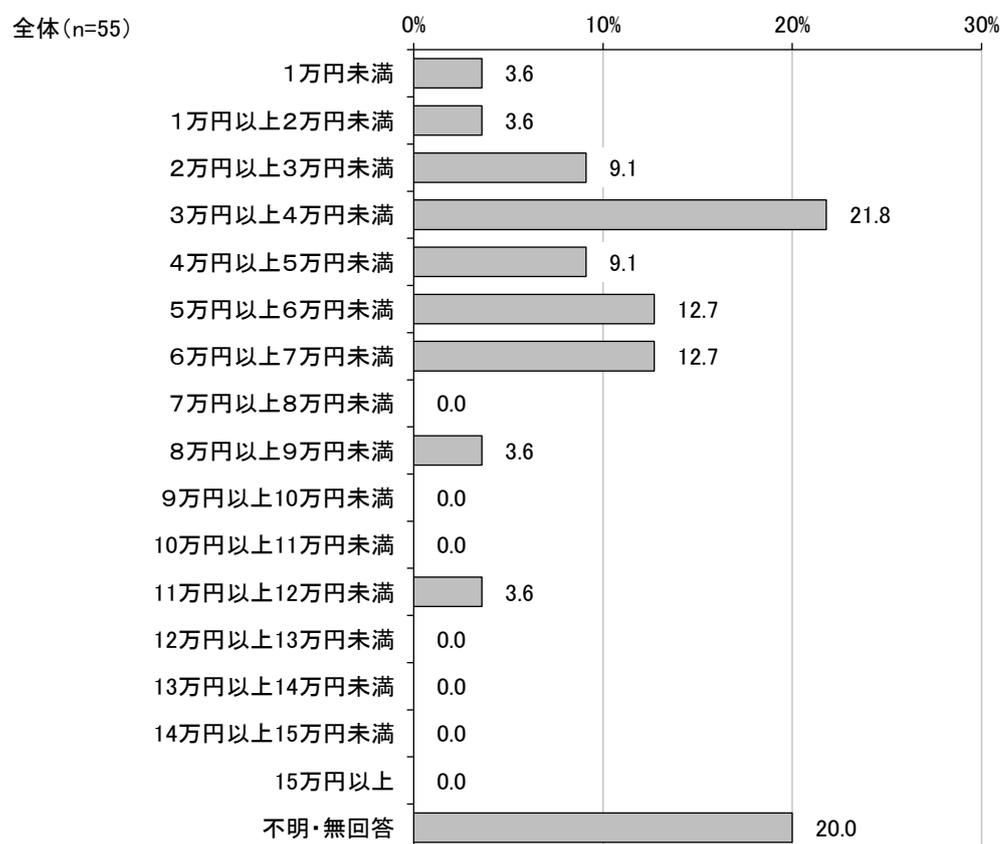
「受け取っていない」が 66.3%と最も高く、次いで「受け取っている」が 22.6%、「時々受け取っている」が 2.9%となっています。



## 「受け取っている」と回答された方

## \* 1 : 月平均金額

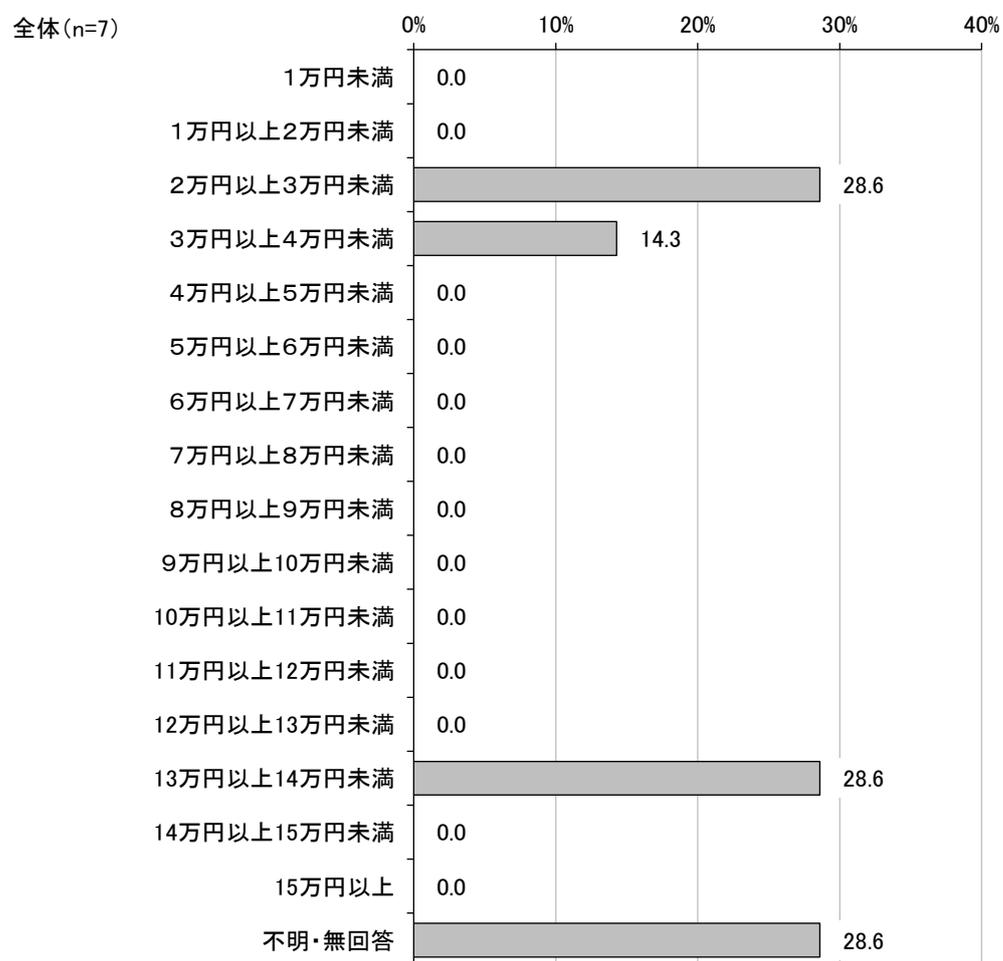
「3万円以上4万円未満」が 21.8%と最も高く、次いで「5万円以上6万円未満」「6万円以上7万円未満」が 12.7%となっています。



「時々受け取っている」と回答された方

\* 2 : 1回の金額

「2万円以上3万円未満」「13万円以上14万円未満」が28.6%と最も高く、次いで「3万円以上4万円未満」が14.3%となっています。

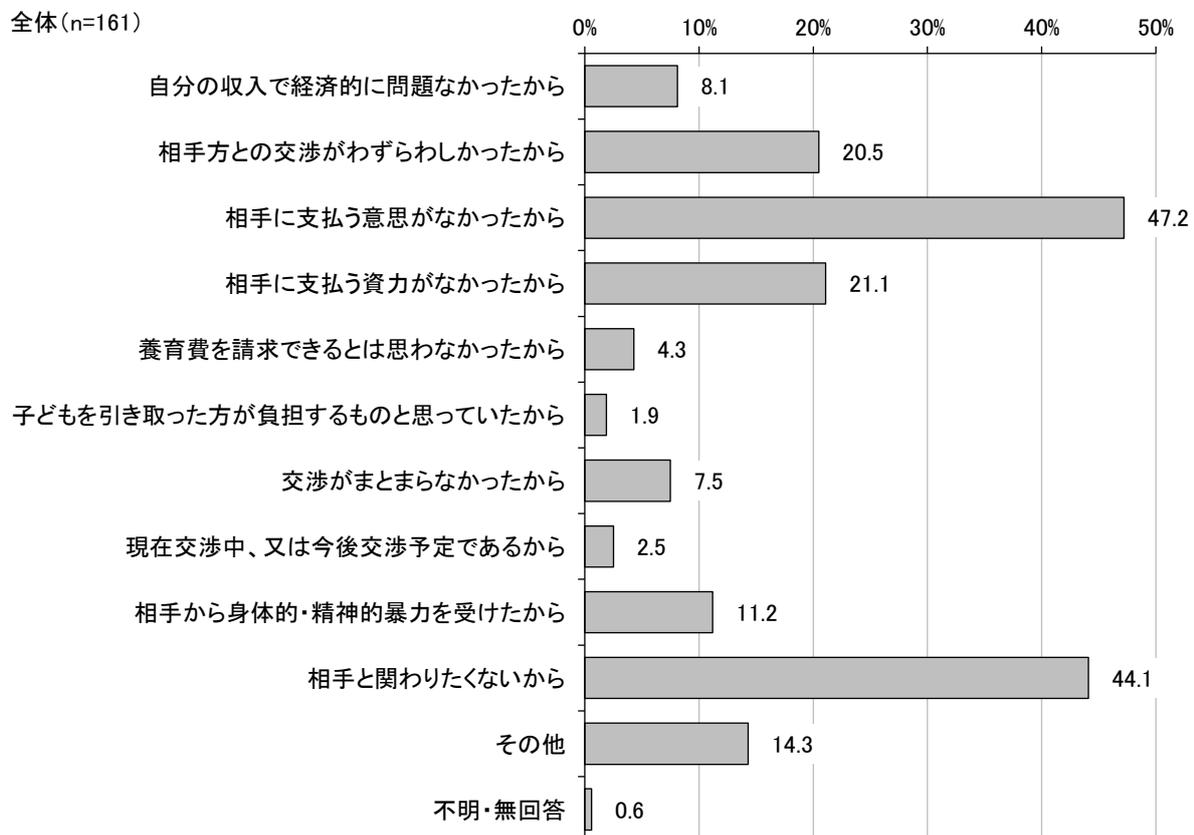


## 【資料6】

問 17-6 で「受け取っていない」と回答された方

【問 17-7】 養育費を受け取っていない理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

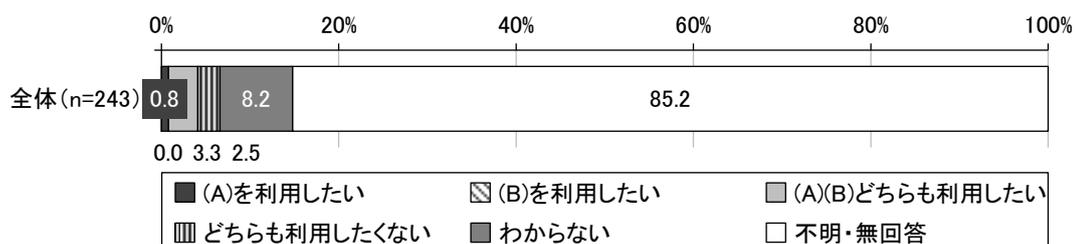
「相手に支払う意思がなかったから」が 47.2%と最も高く、次いで「相手と関わりたくないから」が 44.1%、「相手に支払う資力がなかったから」が 21.1%となっています。



離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問 3 で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問 17-8】 養育費の取決め時に公正証書等作成に係る費用の一部補助する（A）公正証書等補助事業や養育費の未払い時に第三者が立て替えをし、養育費を受け取る保証契約を保証会社と締結する際に必要な経費を一部補助する（B）養育費保証事業を利用したいと思われますか。

「わからない」が 8.2%と最も高く、次いで「(A)(B)どちらも利用したい」が 3.3%、「どちらも利用したくない」が 2.5%となっています。



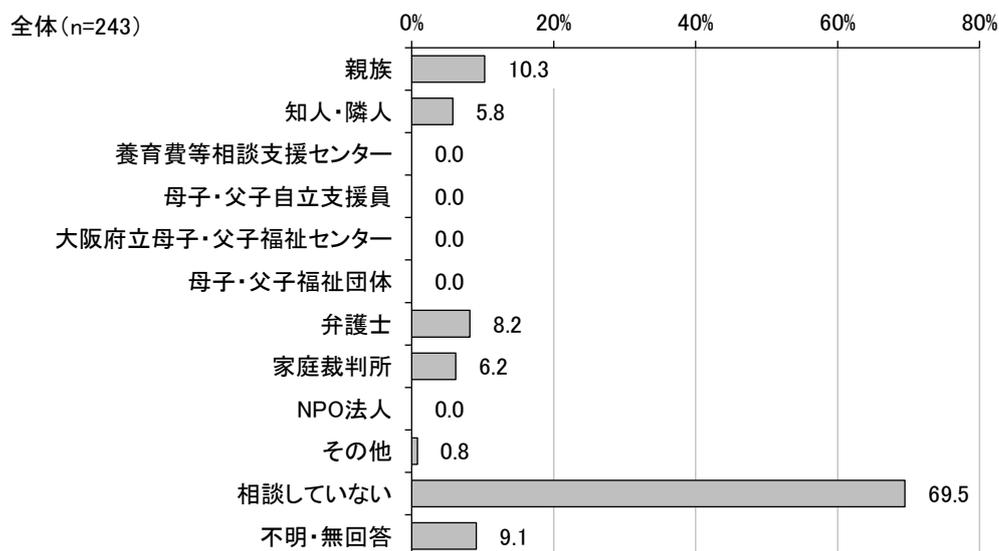
## 【資料6】

## 【資料6】

離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問18】 お子さんの面会交流のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。  
（当てはまるもの全てに○）

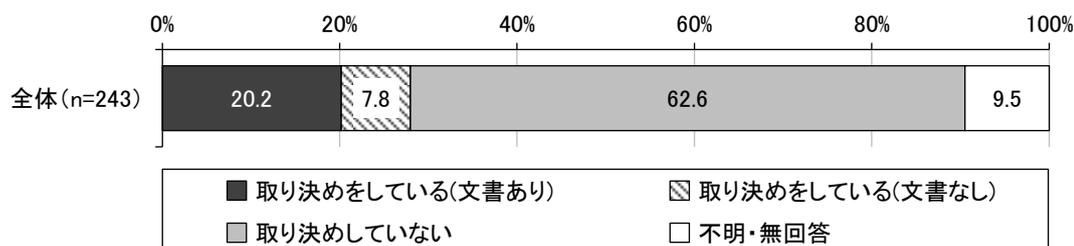
「相談していない」が69.5%と最も高く、次いで「親族」が10.3%、「弁護士」が8.2%となっています。



離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問18-2】 離別した相手との間でお子さんの面会交流の取り決めをしていますか。

「取り決めしていない」が62.6%と最も高く、次いで「取り決めをしている(文書あり)」が20.2%、「取り決めをしている(文書なし)」が7.8%となっています。

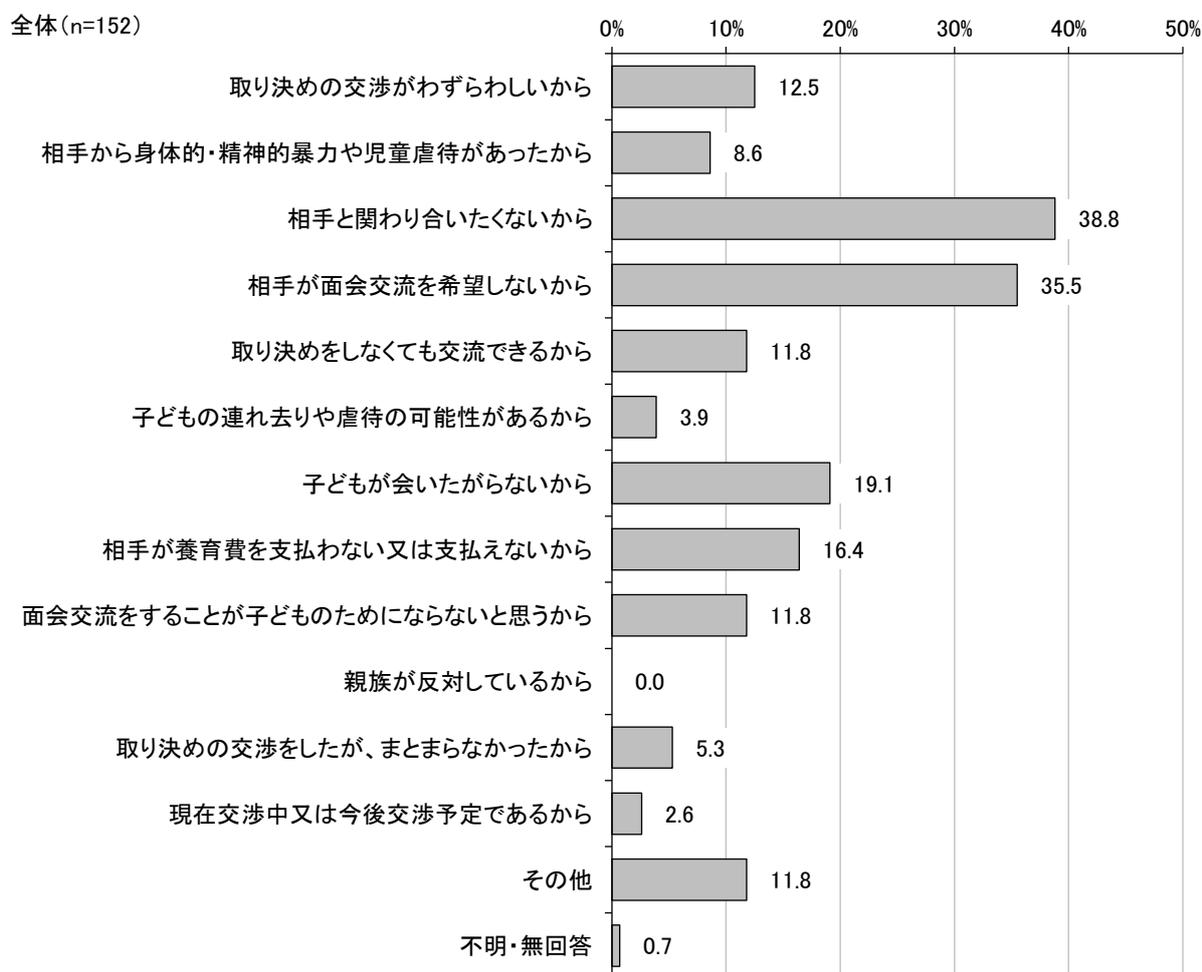


## 【資料6】

問 18-2 で「取り決めしていない」と回答された方

【問 18-3】面会交流の取り決めをしていない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

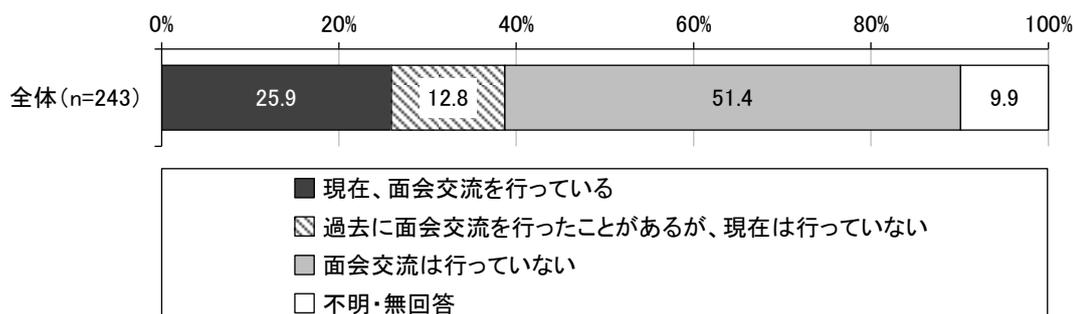
「相手と関わり合いたくないから」が 38.8%と最も高く、次いで「相手が面会交流を希望しないから」が 35.5%、「子どもが会いたがらないから」が 19.1%となっています。



離婚や未婚による理由で、ひとり親家庭になった方（問3で「死別」「行方不明」「その他」以外を回答された方、または寡婦でない方）

【問 18-4】面会交流の実施状況について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

「面会交流は行っていない」が 51.4%と最も高く、次いで「現在、面会交流を行っている」が 25.9%、「過去に面会交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」が 12.8%となっています。

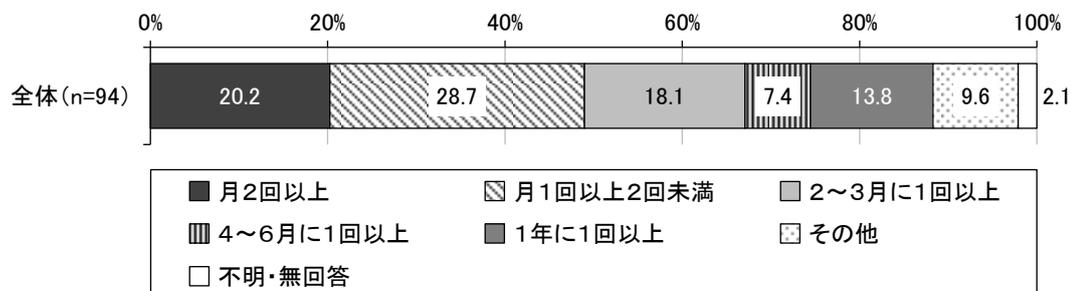


## 【資料6】

問 18-4 で、「現在、面会交流を行っている」又は「過去に面会交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」と回答された方

【問 18-5】面会交流の頻度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

「月1回以上2回未満」が 28.7%と最も高く、次いで「月2回以上」が 20.2%、「2～3月に1回以上」が 18.1%となっています。

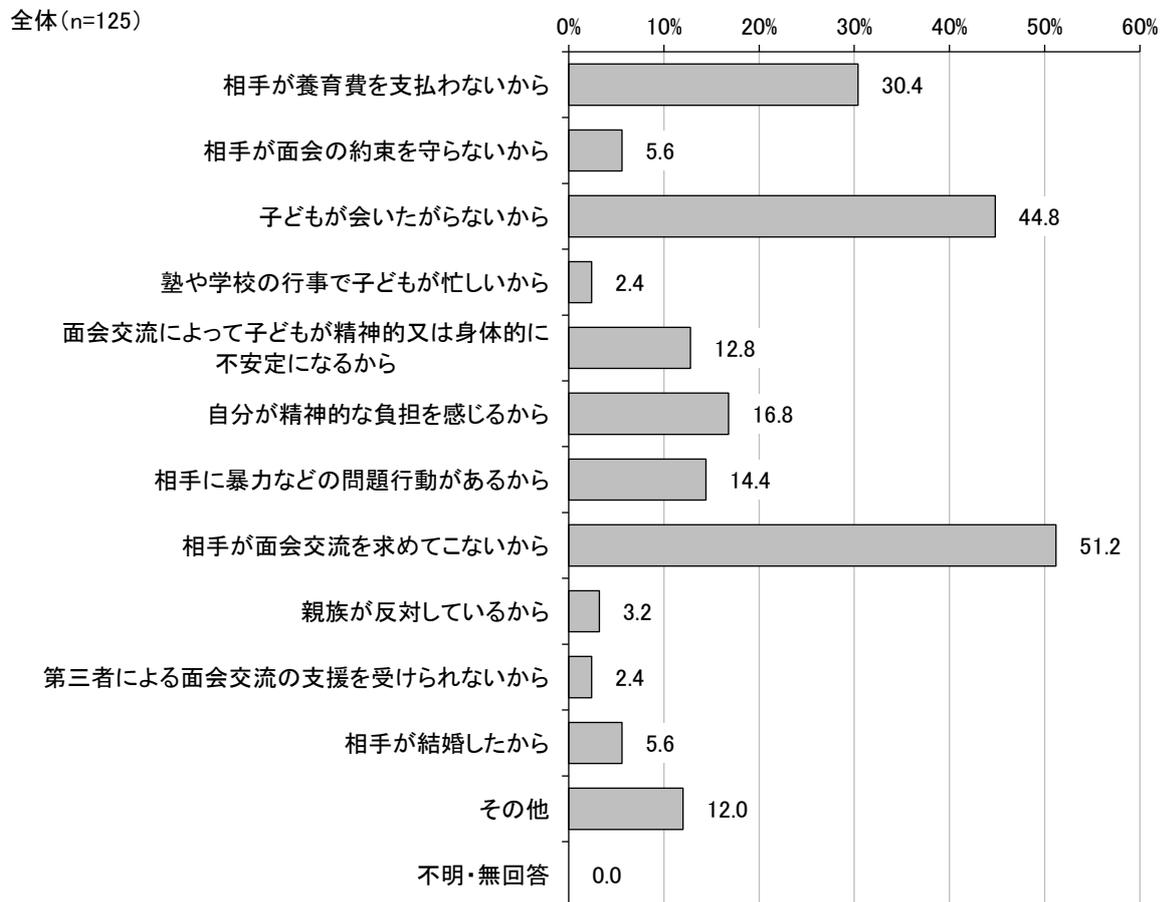


問 18-4 で、「面会交流は行っていない」と回答された方

## 【資料6】

【問 18-6】 現在、面会交流を行っていない理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

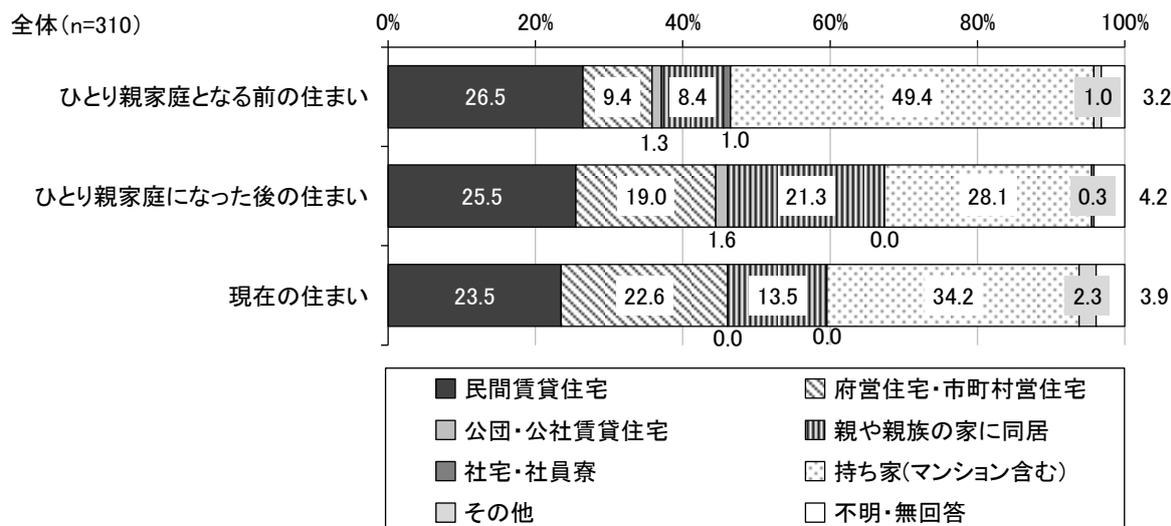
「相手が面会交流を求めてこないから」が 51.2%と最も高く、次いで「子どもが会いたがらないから」が 44.8%、「相手が養育費を支払わないから」が 30.4%となっています。



5 お住まいについて

【問 19】「ひとり親家庭となる前」、「なった後」、「現在」のあなたのお住まいの変化について、それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。なお、寡婦の方は、母子家庭の時を振り返ってお書きください。

いずれにおいても「持ち家(マンション含む)」が最も高く、特に[ひとり親家庭となる前]では約5割となっています。また、[ひとり親家庭となった後]では「親や親族の家に同居」が2割台となっています。

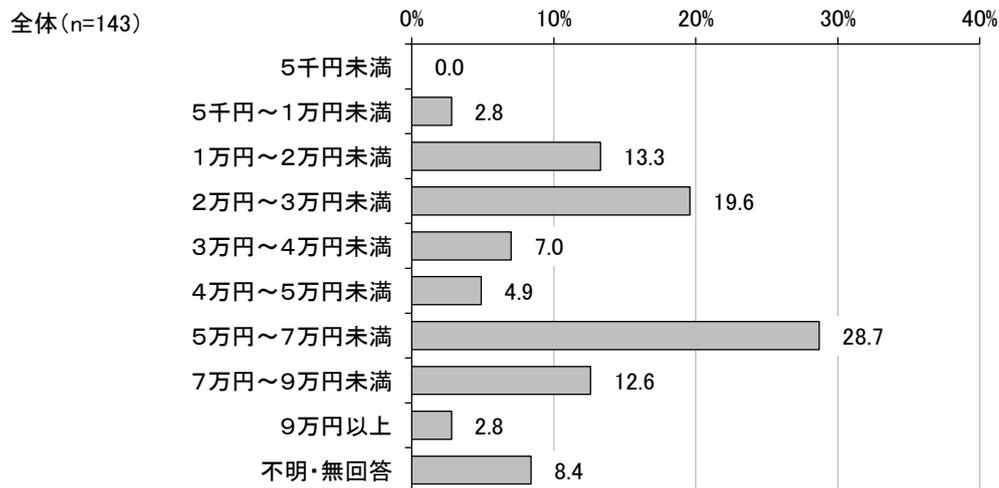


## 【資料6】

問 19 で、現在、賃貸の住宅と回答された方（形態の「民間賃貸住宅」「府営住宅・市町村営住宅」「公団・公社賃貸住宅」のいずれかに○をつけられた方）

【問 19-2①】 1ヶ月の家賃について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

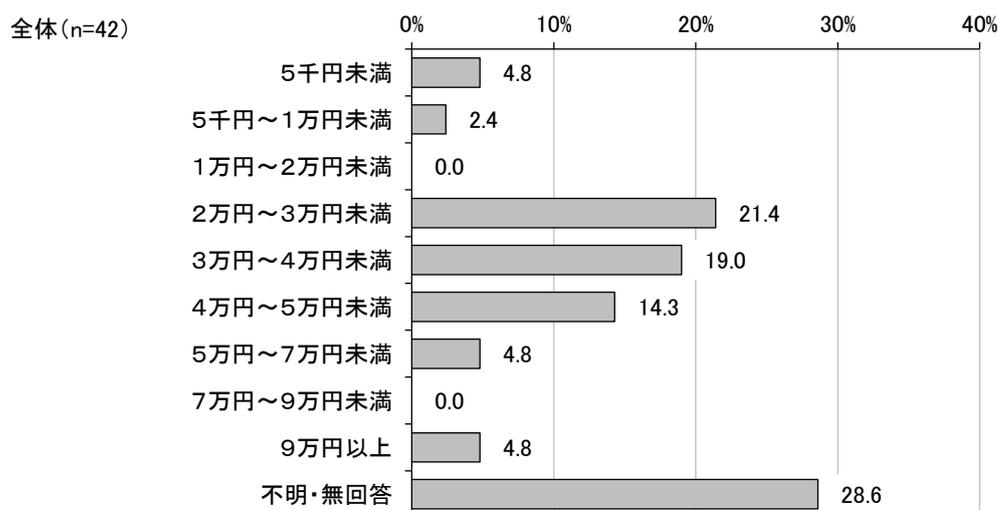
「5万円～7万円未満」が 28.7%と最も高く、次いで「2万円～3万円未満」が 19.6%、「1万円～2万円未満」が 13.3%となっています。



問 19 で「親や親族の家に同居」と回答された方

【問 19-2②】 親や親族に対し、家賃相当の金銭的な負担をされている方は、その金額について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

「2万円～3万円未満」が 21.4%と最も高く、次いで「3万円～4万円未満」が 19.0%、「4万円～5万円未満」が 14.3%となっています。

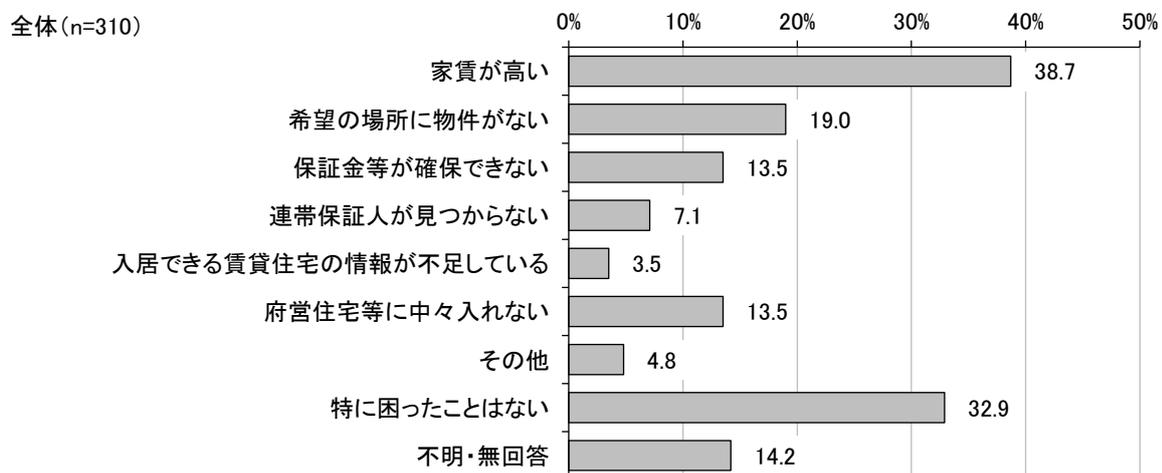


## 【資料6】

【問 19-3】住居を探するときや入居のときに何か困ったことがありましたか。

(当てはまるもの全てに○)

「家賃が高い」が38.7%と最も高く、次いで「特に困ったことはない」が32.9%、「希望の場所に物件がない」が19.0%となっています。

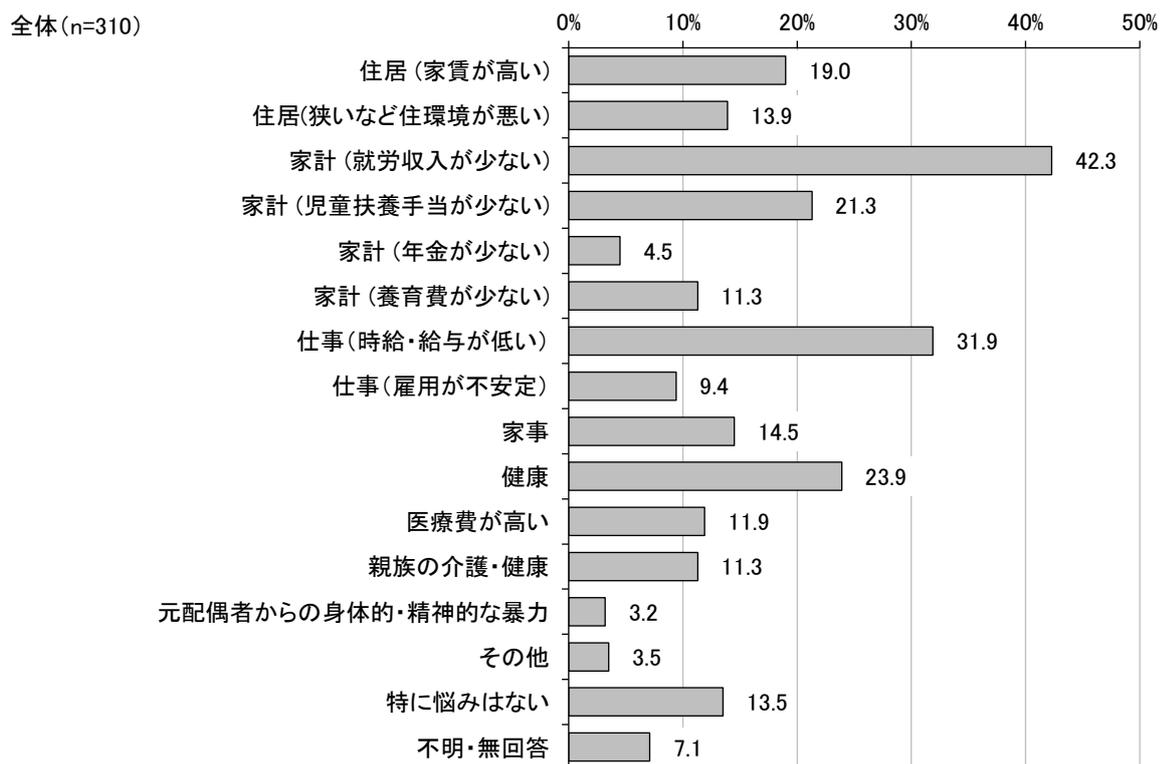


## 6 生活全般・各種制度について

【問 20】ご自身及びお子さんのことで、困っていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

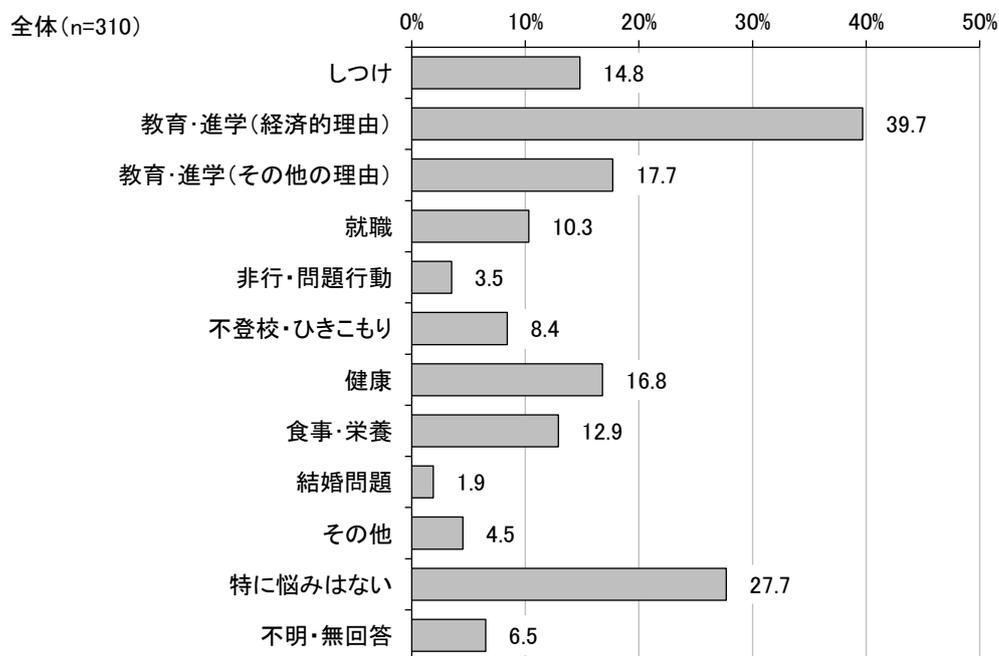
《ご自身のことでの困りごと》

「家計（就労収入が少ない）」が42.3%と最も高く、次いで「仕事（時給・給与が低い）」が31.9%、「健康」が23.9%となっています。



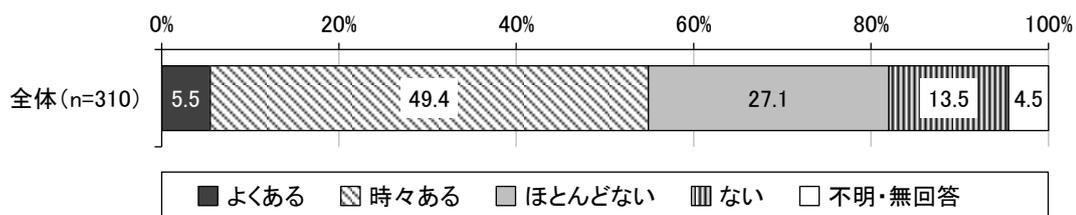
《お子さんのことでの困りごと》

「教育・進学(経済的理由)」が 39.7%と最も高く、次いで「特に悩みはない」が 27.7%、「教育・進学(その他の理由)」が 17.7%となっています。



【問 21】 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

「時々ある」が 49.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 27.1%、「ない」が 13.5%となっています。



## 【資料6】

【問 22】 次の施設や制度のうち、あなたをご存知のもの、ご存知でないもの、及びそれらのうち今後(も)利用したいものはどれですか。当てはまるものに○をつけてください。

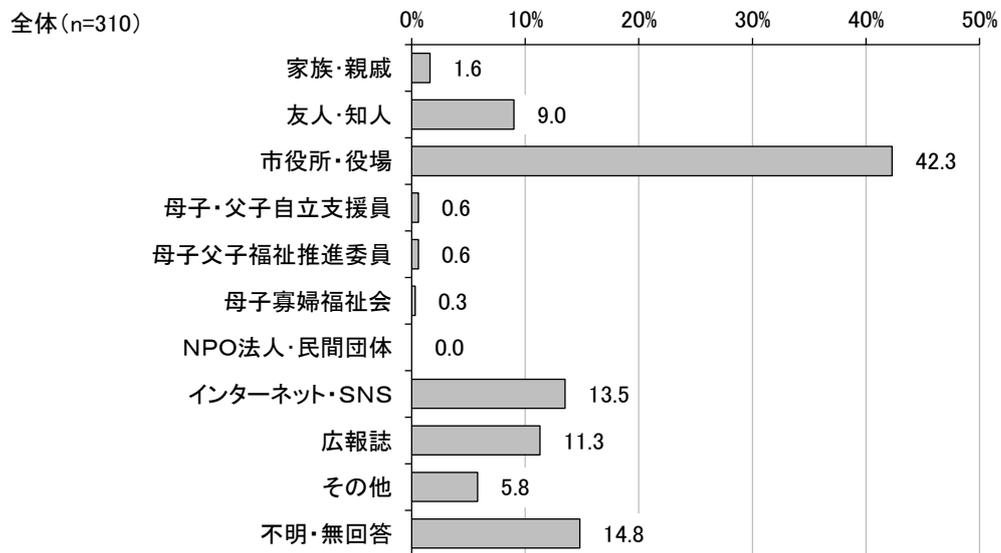
[6.ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金]では「聞いたことがある」、それ以外の項目では「知らなかった」が最も高く、[18.離婚前後の親支援講座][19.養育費の履行確保等支援事業]では8割前後となっています。

全体(n=310)	知らなかった	知っている			今後(も)利用したい	不明・無回答
		利用したことがある	内容も知っている	聞いたことがある		
1. マザーズハローワーク・マザーズコーナー	51.3	5.2	4.5	31.0	1.9	8.1
2. 母子家庭等就業・自立支援センター	42.6	1.0	6.5	42.3	1.3	7.7
3. 母子・父子自立支援プログラム策定事業	53.9	0.3	4.2	33.2	0.0	8.4
4. 生活困窮者自立支援制度	50.3	1.6	4.2	35.2	0.3	8.7
5. 就業支援講習会	46.1	0.3	4.5	41.0	1.0	8.1
6. ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	36.8	1.6	10.0	43.9	1.3	7.7
7. ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	45.5	3.5	9.0	34.2	1.6	7.7
8. ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	60.6	0.0	4.5	25.8	0.6	9.4
9. 職業能力形成システム(ジョブカード制度)	75.2	0.3	2.9	13.5	1.0	8.1
10. 一時預かり事業	60.3	0.3	6.1	24.5	0.0	8.7
11. 病児保育事業	48.7	1.6	10.0	31.9	0.6	7.7
12. 子育て短期支援事業	76.5	0.0	2.6	12.9	0.6	8.1
13. ひとり親家庭等日常生活支援事業	75.5	0.0	2.9	12.6	0.0	9.4
14. ファミリー・サポート・センター事業	48.7	4.8	11.6	26.8	0.0	8.1
15. 母子生活支援施設	66.8	0.0	3.5	21.3	0.0	8.4
16. 福祉世帯向け公営住宅	47.1	3.9	10.6	30.0	0.6	8.4
17. 養育費等相談支援センター	71.3	0.0	3.5	15.5	0.6	9.7
18. 離婚前後の親支援講座	81.9	0.0	1.0	8.1	0.0	9.0
19. 養育費の履行確保等支援事業	79.0	0.0	1.0	11.6	0.6	8.7
20. 面会交流支援事業	76.8	0.3	1.9	10.6	0.3	10.3
21. 母子父子寡婦福祉資金の貸付	59.4	0.6	6.1	25.2	0.0	9.0
22. 大阪府立母子・父子福祉センター	56.5	1.6	3.5	30.6	0.0	7.7
23. 母子・父子自立支援員	72.9	0.6	2.6	15.5	0.0	8.4
24. 母子父子福祉推進委員	76.1	0.3	1.6	13.2	0.0	8.7

## 【資料6】

【問 22-2】問 22 に例示する施設や制度等の情報は主にどこでお知りになったか、当てはまるもの1つに○をつけてください。

「市役所・役場」が 42.3%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が 13.5%、「広報誌」が 11.3%となっています。

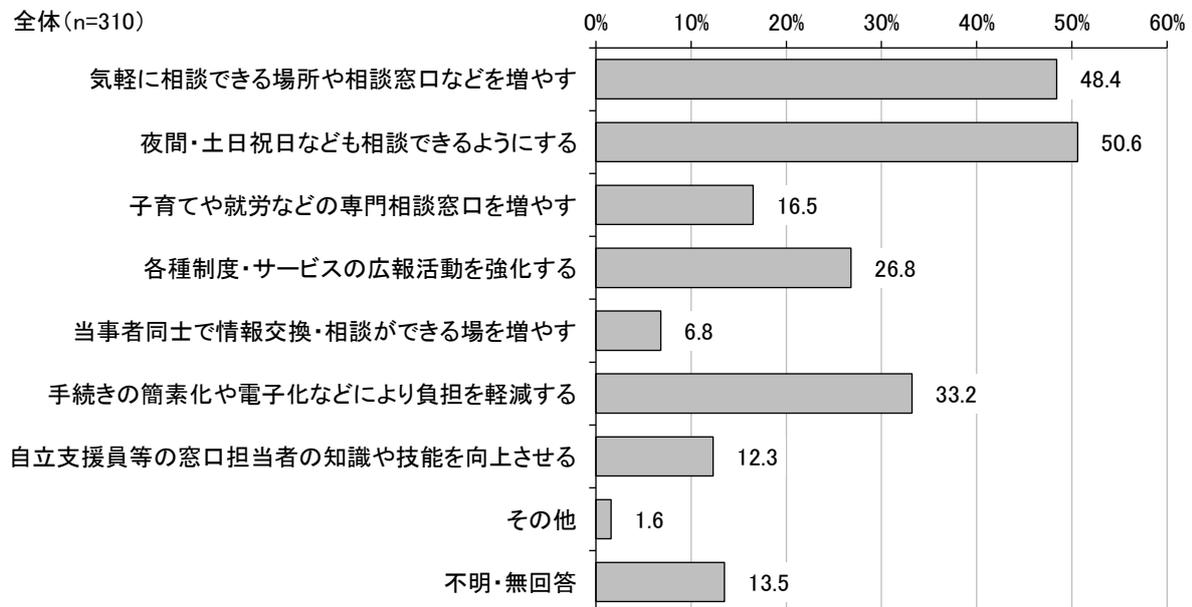


【問 22-3】問 22 に例示する施設や制度を利用しやすくするために、どのようなことを充実させた

## 【資料6】

らいいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

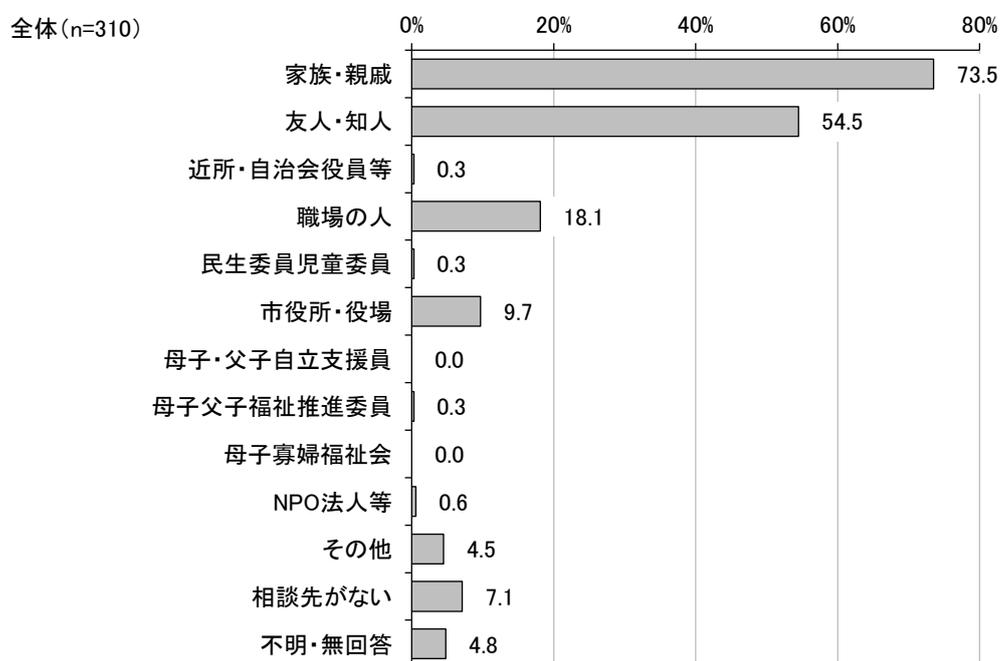
「夜間・土日祝日なども相談できるようにする」が 50.6%と最も高く、次いで「気軽に相談できる場所や相談窓口などを増やす」が 48.4%、「手続きの簡素化や電子化などにより負担を軽減する」が 33.2%となっています。



## 【資料6】

【問23】 困ったことがあるとき、どなたに相談されますか。(当てはまるもの全てに○)

「家族・親戚」が73.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が54.5%、「職場の人」が18.1%となっています。

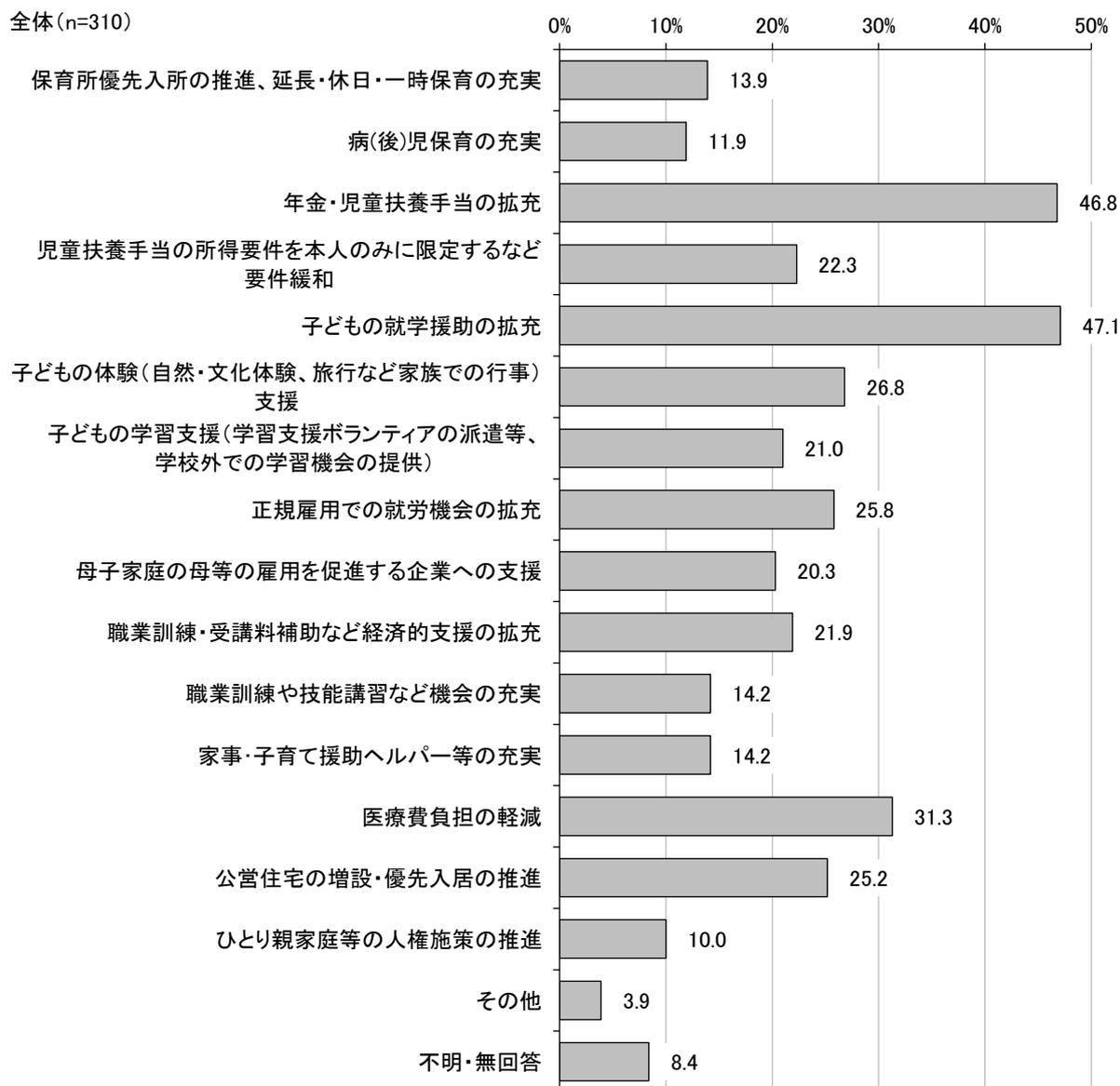


## 【資料6】

【問24】自身が自立や生活の安定を図るためには、どのような支援策を望まれますか。

(当てはまるもの全てに○)

「子どもの就学援助の拡充」が47.1%と最も高く、次いで「年金・児童扶養手当の拡充」が46.8%、「医療費負担の軽減」が31.3%となっています。



(仮称)第四次ひとり親家庭等自立促進計画  
策定にかかるアンケート調査  
結果報告書

発行: 泉佐野市 こども部 子育て支援課  
TEL: 072-463-1212(代)

発行年月: 令和6年4月